一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

第８期（2023年度）事業報告書

～　安全･安心で魅力ある福祉を目指して　～

目次

はじめに ________ 1
総会及び理事会等の開催 ________ 3
第 6 回公開シンポジウム ________ 4
研修の実施 ________ 6
資格制度 ________ 29
被災地への支援 ________ 33
展示会等への出展やマスコミ等による紹介 ________ 40
フェイスブック等による情報発信（災害関係） ________ 42
その他の活動 ________ 47
2023 年度の成果（実績）とインパクト ________ 50
2023 年度の成果を受けた新たな課題 ________ 68
法人情報 ________ 70

はじめに

会長挨拶

2024 年元旦に発生した能登半島地震においては、建物の下敷きで多くの方が亡くなると同時に、避難生活の困難さから関連死も発生しました。被災地の状況を見ると、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震と同様に、いやそれ以上かもしれない厳しい避難生活を多くの方が送られています。特に、高齢者、障がい者、こどもなど脆弱性の高い人に対する支援が不十分でした。災害前後の福祉支援をいかに進めるのか、これは私たちのミッションであります。改めて気を引き締めて取り組まなくてはなりません。

私たちは、災害時の高齢者、障がい者、こどもの避難所として福祉避難所の充実を目指し、（一財）消防防災科学センター様からの委託事業により例年、7 県で福祉避難所マニュアル作成研修を実施してまいりました。そこで、能登半島地震の被災地で福祉避難所がどのように活動されたのか、ほぼすべての福祉避難所を訪れてヒアリングを行いました。同時に、株式会社フェリシモ様の「もっとずっときっと基金」のご支援により、福祉避難所運営された事業者さまに支援金を届けることもできました。また、プラス株式会社様のご厚意により、社会福祉協議会や福祉施設に支援物資を届けることもできます。

実際の福祉避難所の運営は壮絶です。4 人の職員で 300 人以上を受け入れて世話をされた福祉避難所や、停電・断水の中で懸命に運営を続けた福祉避難所の声を聞きました。災害救助法を使えるものであっても緊急なため、行政に要求することなく、自分たちの資金で運営せざるを得ない実態も多数、ありました。

2024 年度は、これまでより多い 8 県で福祉避難所マニュアル作成研修を実施することが決まりましたが、単にマニュアル作成を支援するだけでなく、災害時に効果的に機能するような知識、技能、態度をお伝えしなければなりません。

また、まもなく、今年も出水期がやってきます。今年は例年以上に海水温が高く、大きな水害が懸念されます。少しでも多くの福祉避難所が開設されることを願って、本協会の「福祉避難所開設・運営マニュアル」を無償で公開しています。

乳幼児、妊産婦、障がい者や高齢者と地域とのつながりが弱くなり、社会インフラに依存する都市型社会にあっては、「地域共生社会づくり」が極めて重要です。みんなの困りごとである災害対策を契機に共生社会づくりを進めてまいりましょう。

今後とも本協会に対し、関係者各位のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2024 年 6 月吉日

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会　会長　浅野　史郎

活動の目的

全国の福祉施設や職員の災害対応能力向上と魅力増進を支援するために、防災・事業継続計画（ＢＣＰ）研修等の事業を行うとともに、平時からの福祉防災コミュニティづくりと災害時の福祉支援を行うこと。

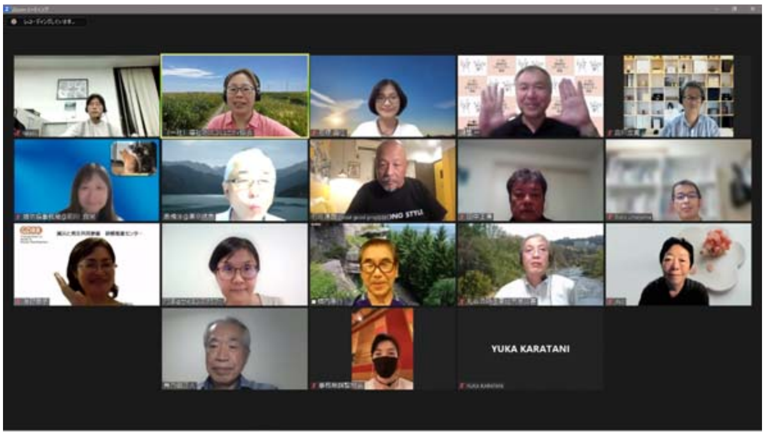
会長、顧問、理事、監事名簿

会長	浅野　史郎	株式会社土屋特別研究員・元宮城県知事
顧問	岸田　宏司	元和洋女子大学学長
顧問	高橋　紘	東京都福祉施設士会会長
顧問	立木　茂雄	同志社大学社会学部教授
顧問	中林　一樹	首都大学東京・東京都立大学名誉教授
顧問	林　春男	元防災科学技術研究所理事長
顧問	原口　兼正	元セコム株式会社代表取締役社長
顧問	室崎　益輝	神戸大学・兵庫県立大学名誉教授
顧問	目黒　公郎	東京大学大学院生産技術研究所教授
顧問	安江　哲	オフィス安江代表
代表理事	鍵屋　一	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授
副理事長	高橋　洋	株式会社防災都市計画研究所シニアコンサルタント
副理事長	田中　正博	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事長
副理事長	田村　圭子	新潟大学危機管理本部危機管理センター教授
副理事長	丸谷　浩明	東北大学災害科学国際研究所教授
副理事長	横内　康行	東京都セルプセンター事務局長
理事	石川　淳哉	一般社団法人助けあいジャパン共同代表理事
理事	石塚　由江	防災士・防災アドバイザー
理事・会計	梅山　吾郎	特定非営利活動法人ゆるゆる ma～ma
理事	岡野谷　純	特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサェティ代表理事
理事	岡橋　生幸	株式会社クオリティサポート代表取締役社長
理事	柄谷　友香	名城大学都市情報学部教授
理事	国崎　信江	株式会社危機管理教育研究所代表
理事	寿乃田　正人	イッツ・コミュニケーションズ株式会社メディア事業部 FM サルースチーム
理事	高須　是樹	日本ミクニヤ株式会社東京支店長
理事	竹本　加良子	株式会社サイエンスクラフト代表取締役社長
理事	湯井　恵美子	一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
理事	吉川　忠寛	株式会社防災都市計画研究所代表取締役所長
監事	浅野　幸子	減災と男女共同参画研修推進センター共同代表
監事	中川　和之	株式会社時事通信社解説委員
事務局長	上園　智美	日本ミクニヤ株式会社東京支店防災部
事務局	前川　良栄	一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
事務局	早瀬　マミ	一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

総会及び理事会等の開催

総会、理事会及び理事 WG を開催し、協会の取り組み内容の検討等を実施した。

開催日	内容	場所
2023 年 5 月 22 日	理事 WG	Zoom
2023 年 6 月 24 日	定例総会	千代田区社会福祉協議会研修室 1･2 Zoom
2023 年 8 月 21 日	臨時理事会	Zoom
2023 年 8 月 28 日	理事 WG	Zoom
2023 年 10 月 4 日	理事 WG	Zoom
2023 年 11 月 19 日	理事 WG	恵比寿
2023 年 12 月 14 日	理事 WG	Zoom
2024 年 1 月 17 日	理事 WG	Zoom
2024 年 3 月 23-24 日	理事 WG	男鹿市



日々の運営についての確認は、内容によりLINEWORKSにグループトークを作成して行っており、スピード感をもった対応ができている。また顔を合わせて打ち合わせをした方がいい案件については、客先との講演会や打合せ後、別件打合せなどにあわせて、短い時間で確認等を行った。

第６回公開シンポジウム

第６回公開シンポジウムを、2023年6月24日（土）に開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため、現地集合の定員を制限して実施し、後日、録画データを当会ホームページで期間限定（約１か月間）公開した。

シンポジウムでは、浅野史郎会長が基調講演「障がい者の尊厳を考える」を行った後、パネルディスカッション「災害時にも尊厳を守る社会とは～被災者支援のあり方を考える～」を行った。パネリストに酒井明子氏（日本災害看護学会理事長）、菅野拓氏（大阪公立大学准教授）、小野雄大氏（内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(避難生活担当)）を迎え、鍵屋一代表理事がコーディネーターを務めた。

また2022年度の協会活動および2023年度活動計画の報告を行い、新しく誕生した6名の認定コーチの認定式等を行い、滞りなく会を終了した。

受付や会の運営は、理事や認定コーチの協力を得て実施した。

（一社）福祉防災コミュニティ協会　第6回公開シンポジウム

災害時にも尊厳を守る社会とは
～被災者支援のあり方を考える～

後援
千代田区社会福祉協議会

日時
2023年6月24日（土）
受付 13:00～
公開シンポジウム
13:30～17:00

場所
千代田区社会福祉協議会
研修室１・２
東京都千代田区九段南
1-6-10かがやきプラザ4階

参加費
無料

定員
現地：50名（先着順）

当日のオンライン配信は行いません。
後日、当会ホームページで録画データを期間限定公開いたします。

開会（13:30～13:35）

基調講演（13:35～14:35）
障がい者の尊厳を考える
浅野 史郎
本協会会長・株式会社土屋特別研究員
元宮城県知事

パネルディスカッション（14:45～16:45）
災害時にも尊厳を守る社会とは
～被災者支援のあり方を考える～
【パネリスト】
酒井 明子 さん
日本災害看護学会理事長
菅野 拓 さん
大阪公立大学准教授
小野 雄大 さん
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（避難生活担当）
【コーディネーター】
鍵屋 一 本協会代表理事

お知らせ（16:45～17:00）

（括弧内の時間は、目安です。ご了承ください。）

← お申込みはこちらから。
協会ホームページでも受け付けております。
【協会ホームページ】 http://fukushi-bousai.jp/index.html
【申込み締切】2023年6月21日（水）
問合せメールアドレス　fukushibousai@gmail.com

1. 会長挨拶
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会
会長　浅野 史郎

2022年度に認定された認定コーチ

菅野
拓

小野
雄大

研修の実施

主な研修の実施内容を以下に示す。

（１）一般財団法人消防防災科学センターからの受託研修

開催日	開催府県	回	場所等	講師 (上級・認定コーチ)		OJT	人数
6/13	三重県	前期	三重県勤労者福祉会館 ５階第２教室	高橋	前川		20
7/12	岐阜県	前期	岐阜県シンクタンク庁舎 ５階大会議室	横内	前川		56
7/19	鳥取県	前期	倉吉体育文化会館　中研修室	上園	中井		14
8/22	福井県	前期	オンライン開催（福井県庁から）	横内	奥村		42
8/24	三重県	後期	三重県庁講堂棟 ３階 131・132 会議室	湯井	大月	斉藤	16
9/6	鳥取県	後期	倉吉体育文化会館　中研修室	湯井	松原		8
10/11	岐阜県	後期	岐阜県シンクタンク庁舎 ５階大会議室	高橋	石塚	浅野	41
10/24	山形県	前期	山形県自治会館	高橋	岡野谷	遠藤	27
11/8	熊本県	前期	熊本県庁内会議室	上園	星野		40
11/13	福井県	後期	福井県庁 10 階防災センター	湯井	前川		20
11/14	京都府	前期	キャンパスプラザ京都	湯井	弘中		16
12/12	山形県	後期	山形県自治会館	高橋	奥村	遠藤	16
1/15	熊本県	後期	熊本県庁内会議室	横内	星野		28
1/23	京都府	後期	京都リサーチパーク	湯井	木村		5
							349

開催場所である7県の担当者から、市町村で災害時に重要な役割をする福祉関係者（福祉関係部局、社会福祉協議会、福祉施設の職員など）を対象に研修参加者の募集を行い、「福祉避難所の設置・運営に関する実務研修」を実施した。

研修の開催日・会場は、実施団体との調整により下表のように決定した。なお、今回実施した7県での参加人数は、349名であった。

昨年度までは、新型コロナ感染拡大によりオンライン研修へ切り替え・開催の延期が発生していたが、今年度のオンライン開催は１回のみとなり、研修のほとんどがこれまで通りの集合型研修となった。そのため、昨年度より多くのコーチが本研修に関わることができるようになった。現地研修で

は、各県担当者と打合せの上、新型コロナ感染症対策のため換気の実施等を行った。

前期研修の前半部分の講義では、過去の大災害と教訓、福祉避難所設置・運営の現状と課題、法制度の解説を実施した。次に、演習として災害エスノグラフィを使ったグループワークを行い、その後、福祉避難所マニュアルの作成方法をひな型で説明した。

前期研修後、県を通じて参加者に福祉避難所マニュアルひな型データを配布し、各組織でマニュアルを作成いただいた。また県担当者が後期研修の声掛けを行う際に、マニュアル作成の進捗に関する問いかけを実施していただき、マニュアル作成の推進へとつなげた。

後期研修では、前期研修のおさらいとマニュアル作成の重要ポイント説明の講義を行い、演習ではグループワークや福祉避難所スタートボックスの趣旨・内容等の解説、福祉避難所スタートボックスを活用した簡易実動訓練を行った。

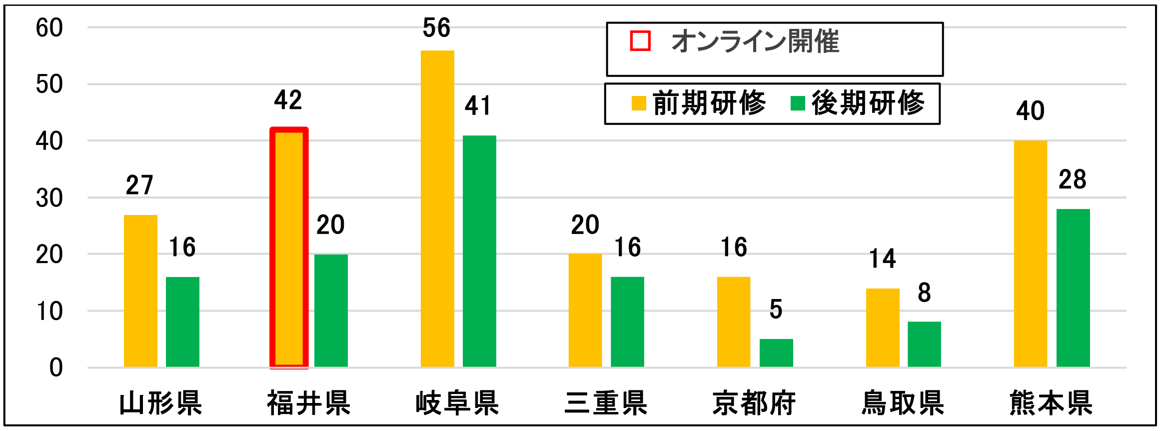


図　研修参加者数の変化

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類感染症に変更されたことにより、zoomでの開催を希望された場合も担当者と相談した結果、ほぼ全ての研修を集合型で開催することができた。

4月17日に開催地へメール配信したが、返信までに1ヶ月以上を要した自治体もあり、初めて申込みされた府県は7月以降からの開催となった。また「開催時間を短く（3.5時間→3時間）して欲しい」「職員のみの研修だと思っていた」等の連絡もあり、応募書類の内容が上手く伝わっていない状況も見られた。昨年度は雪による開催延期が発生したため、今年度は雪が想定される地域で開催する場合は雪が降る前までの開催を依頼した結果、年内までに開催することができた。1月開催の熊本県・京都府については、1月1日に発生した能登半島地震への災害対応による開催延期を想定して開催確認の連絡を行った結果、予定通り開催となった。

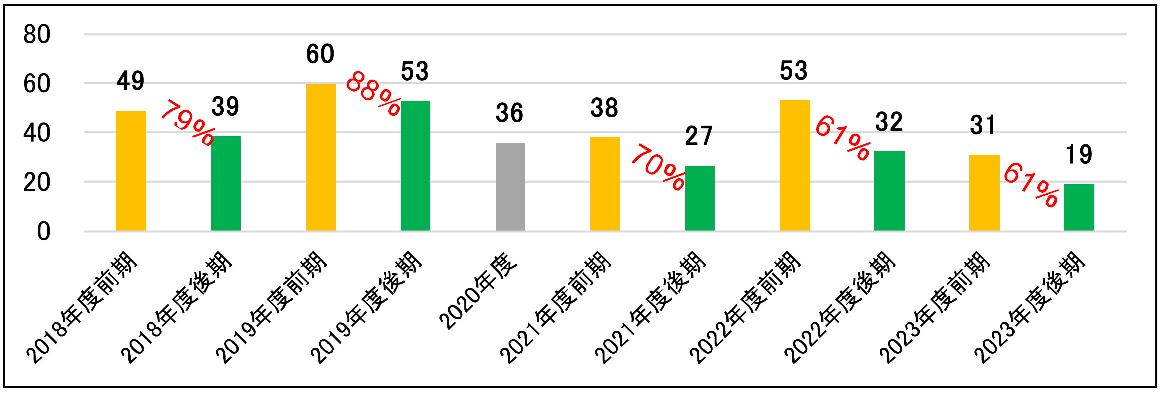


図　研修参加者平均数の年度ごとの変化

2018年度からの研修参加者について、前期後期に分けて平均数を比べた。（2020年度は、前期後期ではなく１日終日の１回研修であったため、参考値とする）

以降に、各県で実施した研修状況をまとめた。

① 山形県

山形県では、防災くらし安心部防災危機管理課と調整を行った。

前期研修では、講義はメモを取りながら真剣に聞く方が多く、ワークでも盛んに話し合いができ、最後の成果作成は盛り上がった。行政職の方、施設の方がうまく各テーブルに配置されていたため、互いにお困りごとやうまく行っている点を話しあっており、良い体験になったと思う。参加された皆さんは、ファシリテーション慣れをしているようで、スムーズに会話ができていた。「介護保険での避難者のケア」「報酬例」等の質問があった。

後期研修は12月で議会もあったためか参加者は少なくなったが、最後の質疑応答も含め積極的に参加してくださった。山形は東日本大震災で被災しながら支援もされたので、当時の話をされる参加者もいた。「施設の安全確認について、プロが来てくれるか？」との質問が寄せられ、自分達で確認するチェックリストの案内を行った。参加者の1名が、研修が進むにつれ機嫌が悪くなり投げやりになられ、講師によると「困難な避難所運営実体験を思い出されたのではないか」とのことであった。災害を思い出して苦しくなった時は、自由に退席して気分転換できるような雰囲気をつくることも必要かもしれない。

写真　山形県前期の様子

写真　山形県後期の様子

② 福井県

福井県では危機対策・防災課と調整を行い、「オンライン開催で3時間の研修にして欲しい」との要望があったため、前期研修では個別に調整をして実施したが、参加者からは「オンラインでの意見交換が聞こえにくい」「スケジュールに余裕がなかった」等の意見があった。これを受け後期研修は集合研修としたため、そのような意見はなくなった。

前期研修はオンラインだったが、演習は思ったよりスムーズに進んだ。しかし業務で離席する参加者があり、少ない人数で話し合うことになったグループも目立った（このため、後期研修は集合研修での開催に切り替えた）。行政と施設の関係が薄くなっていること、もっと頻繁に関係強化の必要性が重要だと気付く参加者が多かったのは良かった。同自治体の参加者が1つのパソコンで入っていて、マイクの環境も悪く、よく聞き取れないチームもあった。オンラインの場合は、せめて1人1台のパソコンでの参加者にできると良い。

後期研修のグループディスカッションでも積極的な発言が多くみられ、講師からの質問に対しても楽しみながら回答されていた。研修中に県担当者が会場を離れることがあったため、今後は研修を受けてもらう用声掛け等を実施したい。

写真　福井県前期の様子

写真　福井県後期の様子

③ 岐阜県

岐阜県では、危機管理部防災課と調整を行った。会場が広いためサブモニターを設置していただき、参加者にとっては見やすい状況が作られていた。ただサブモニターにつなぐために、その場で担当者から講師にオンライン（zoom）参加するよう要請があり、講師が持参していた個人Wi-Fiで対応することになった。会場設営について、事前に相談が欲しかった（後期研修では改善いただいた）。

前期研修では、参加者が多く男女比にもあまり差がなかった。ワークショップでは、各自が感じていることを率直に話している様子が見られた。質疑応答の時間が取れなかったため、メールでの対応とした。

後期研修では、熱心な聴講姿勢から、前期研修後のマニュアル作りを経た上で受講されていることが伝わってきた。講義中の質問はなかったが、グループワークでは活発な意見交換が行われており、多角的に考え共有している様子がうかがえた。

写真　岐阜県前期の様子

写真　岐阜県後期の様子

④ 三重県

三重県では、子ども・福祉部子ども・福祉総務課総務班と調整を行った。

前期研修では、穏やかな空気感で各講師の話に惹きつけられているようだった。グループワークへの移行もスムーズで、前向きに取り組まれていたと感じた。福祉避難所の防犯等について、懸念を持たれた方がおられた。研修内での質問でなく、終了後に個別に質問が寄せられた。

後期研修では前期より受講者が少なくなり、防災担当者もいたものの福祉部局の参加者が少ないように思えた。しかし、受講者からは「内容がよくわかった」と好意的な意見が寄せられた。福祉避難所の具体的な話もあり、良い研修になった。

写真　三重県前期の様子

写真　三重県後期の様子

⑤ 京都府

京都府では、危機管理部災害対策課と調整を行った。

前期研修では、地方自治体職員と社協職員が参加し、意見交換がしっかりできて良かった。特に、南山城村からの参加者からは具体的な課題があることが共有され、今回の研修により検討が進んだことは良かった。

後期研修では、能登半島地震への支援派遣の時期にあたり、参加者が激減した。事前に申し込み人数から減ると聞いていたが、当日はさらに少なくなったので、（開催についての確認は行っていたが）延期の提案も必要だったかもしれない。参加者が少ない分、講師と参加者とのコミュニケーションはしっかり取れた。

写真　京都府前期の様子

写真　京都府後期の様子

⑥ 鳥取県

鳥取県では、危機管理局危機管理政策課と調整を行った。

前期研修では、施設からの参加者が多く、また会場も暑かったことから、参加者が眠くならないように講義部分を普段より噛み砕きながら話した。講義部分の反応があまりなかったので少し心配したが、演習が始まると活発にグループ討議されていて良かった。参加者と話した際に、町職員が町内の施設に声をかけられたことが分かった。結果的に施設さんは参加出来なかったが、「帰ってから説明して、一緒に取り組みます」と言われていた。福祉施設からの参加者が多かっただけに、行政職員の参加者が少なかったことは残念であった。

後期研修では、参加者によって発言の積極度に差異は見られたが、必ず一度は自身の意見を発言する機会を設けたこともあり、参加者個人が抱いている価値観や疑問・課題等を他参加者に伝えようとする意識は同じ熱意を持っていた感じであった。研修内での班別ワークの際に、班数が2班だったこともあり、サポート講師と県職員の方でそれぞれの班のサポートについたことで、多くの意見を聞き出すことができた。

写真　鳥取県前期の様子

写真　鳥取県前期の様子

⑦ 熊本県

熊本県では、健康福祉部健康福祉政策課地域支え合い支援室と調整を行った。

前期研修では、会場に備え付けてあるプロジェクターの不調が直らず、ほとんど手元の資料を見てもらいながらの研修となったが、参加者は熱心に取り組み、真剣に話を聞いていた。ワークでは、自身が被災した経験等も踏まえて多くの意見が挙がり、活発な意見交換が行われていた。多くの意見が出たおかげで、オーソドックスだが大事な対策（計画やマニュアルの作成等）、ユニークな対策（職員の休息体制確保、報酬UP、演奏会等による精神安定に向けた取組）等、多様な意見が出た。研修後には、「福祉避難所への災害救助法の適用」について質問があった。

後期研修でも、参加者は皆真剣に講義を聞き、活発な議論をされている様子であり、グループワークにおける気づきが多様であった。「福祉避難所における避難者スペースの通路の取り方について教えて欲しい」との質問があった。

写真　熊本県前期の様子

写真　熊本県後期の様子

⑧ まとめ

研修資料について、来年度は能登半島地震の情報等を追加して資料のバージョンアップと共に、事例紹介等を行っていくと時間が足りなくなってしまうため少し減らすことを検討したい。また本研修に関与する当会認定コーチが増えてきたため、事前レクを個別に実施するのではなく、研修の進め方フォローアップ研修を全体的に実施したい。

会場据え付けのプロジェクターやマイクの不調、会場設営上の問題やエアコン設定など、会場を準備してくださる研修先の担当者に依頼することがたくさんある。これまで現場で依頼してきたことも多いが、来年度は最初にお届けしている依頼文章に追記したい。

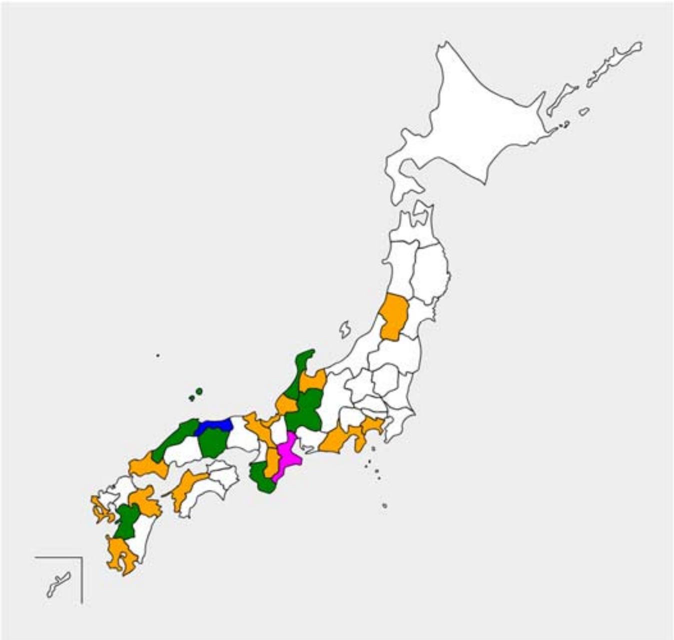
特に遠方から参加した方のアンケートに、「研修を16時までに終えて欲しい」という意見があった。集合研修による効果が高いことは分かっており、来年度もなるべく集合研修を開催できるようにしていくが、遠方からの参加者からの要望でもあるため、開催時に検討していきたい。

今回も、オンライン研修では呼び出し等により研修を抜ける人が後を絶たなかった。また複数人で1台のパソコンから参加することも多く、演習時の効果が特に減少してしまう。島嶼部がある都道府県の場合、オンライン研修は大変便利ではあるが、効果が薄い研修を行うことは研修を実施する者・受ける者、双方の時間がもったいないため、来年度は集合研修のみでの開催と出来ればと思う。

1月1日に発生した能登半島地震の被災地である石川県でも、2018年、2022年と本研修を2回実施したが、大変残念なことに福祉避難所があまり開設されていない現状がある。これについては、今後、ヒアリング等を実施していきたい。

表　消防防災科学センター研修　実施場所・回数まとめ

実施場所	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	研修回数
山形県						●	1回
神奈川県			●				1回
富山県	●						1回
石川県	●				●		2回
福井県						●	1回
岐阜県					●	●	2回
静岡県		●					1回
三重県	●	●	●	●	●	●	6回
京都府						●	1回
奈良県				●			1回
和歌山県		●	●				2回
鳥取県				●	●	●	3回
島根県			●		●		2回
岡山県			●	●			2回
山口県		●					1回
愛媛県				●			1回
長崎県				●			1回
熊本県				●		●	2回
大分県					●		1回
鹿児島県					●		1回
	3県	4県	5県	7県	7県	7府県	



（２）茨城県常総市福祉避難所開設訓練

茨城県常総市からの委託で、市が選定した会場で福祉避難所開設・運営訓練を実施した。今年度の訓練では、協定施設職員・公募による当事者と支援者・常総市福祉部門職員・防災部門職員が参加し、福祉避難所に関しての重要部分の概要説明を行った後、訓練を前半後半に分けて行った。

種別	日時	場所	講師
訓練	令和6年 3月19日（火）	水海道あすなろの里 体育館・宿泊棟１階	高橋上級コーチ、上園上級コーチ 湯井上級コーチ、石塚認定コーチ 星野認定コーチ、齋藤認定コーチ 木村認定コーチ

写真　事前打合せ

写真　訓練準備

写真　福祉避難所についての講義、訓練の流れ説明

写真　開設・運営訓練

写真　解説・質疑応答・ふりかえり

（３）ぎょうせい BCP 研修

株式会社ぎょうせいからの委託で、北海道内の２町において、下記日程でBCP作成研修を実施した。

開催町	種別	日時	場所	参加	講師
北海道 別海町	前期研修	令和5年 4月21日（金）	別海町役場	10	鍵屋上級コーチ 前川認定コーチ
	後期研修	令和5年 8月3日（木）	別海町役場	8	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ
北海道 中標津町	前期研修	令和5年 6月9日（金）	中標津町役場	22	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ
	後期研修	令和5年 8月4日（金）	中標津町役場	22	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ

写真　別海町 BCP 前期の様子

写真　別海町 BCP 後期の様子

写真　中標津町 BCP 前期の様子

写真　中標津町 BCP 後期の様子

別海町の後期研修参加者が少なかったため、最後のワークショップでは、話し合い（BCP作成時の疑問等の持ち寄り）で解決策を出すのではなく、「これだけは講師に聞きたい」という質問を話し合ってもらい、鍵屋上級コーチが出された質問に答えるワークショップに変更した。また、中標津町の後期研修でも、同様のワークショップを実施した。

通常の研修では、質問等があっても質疑応答の時間に手が上がることが少ないが、このワークショップでは「話し合いを行ったけれども、解決できなかったこと」に対して講師が直接回答してくれるため、参加者の満足度が高くなったと感じた。ただし、このワークショップを実施するためには福祉防災に関する幅広い知識が必要なため、当会上級コーチでも限られたメンバーしか実施できないのが難点である。

（４）広島県 BCP 研修

広島県からの委託で、広島県内の軽費老人ホーム、養護老人ホーム、老健等の役職員を対象として、「福祉施設のBCP作成を通じた防災リーダー養成研修」を実施した。本研修は、3か年かけて各種別の施設を対象としてBCP研修を行うものであり、2023年度が最終年度となった。

研修内容	日時	場所	講師
前期研修	令和5年12月8日（金）	オンライン サポート：前川認定コーチ	鍵屋上級コーチ 中井認定コーチ
後期研修	令和6年2月5日（月）	オンライン サポート：前川認定コーチ	鍵屋上級コーチ 中井認定コーチ
フォローアップ研修	令和6年3月4日（月）	オンライン サポート：前川認定コーチ	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ

写真　広島県 BCP 前期の様子

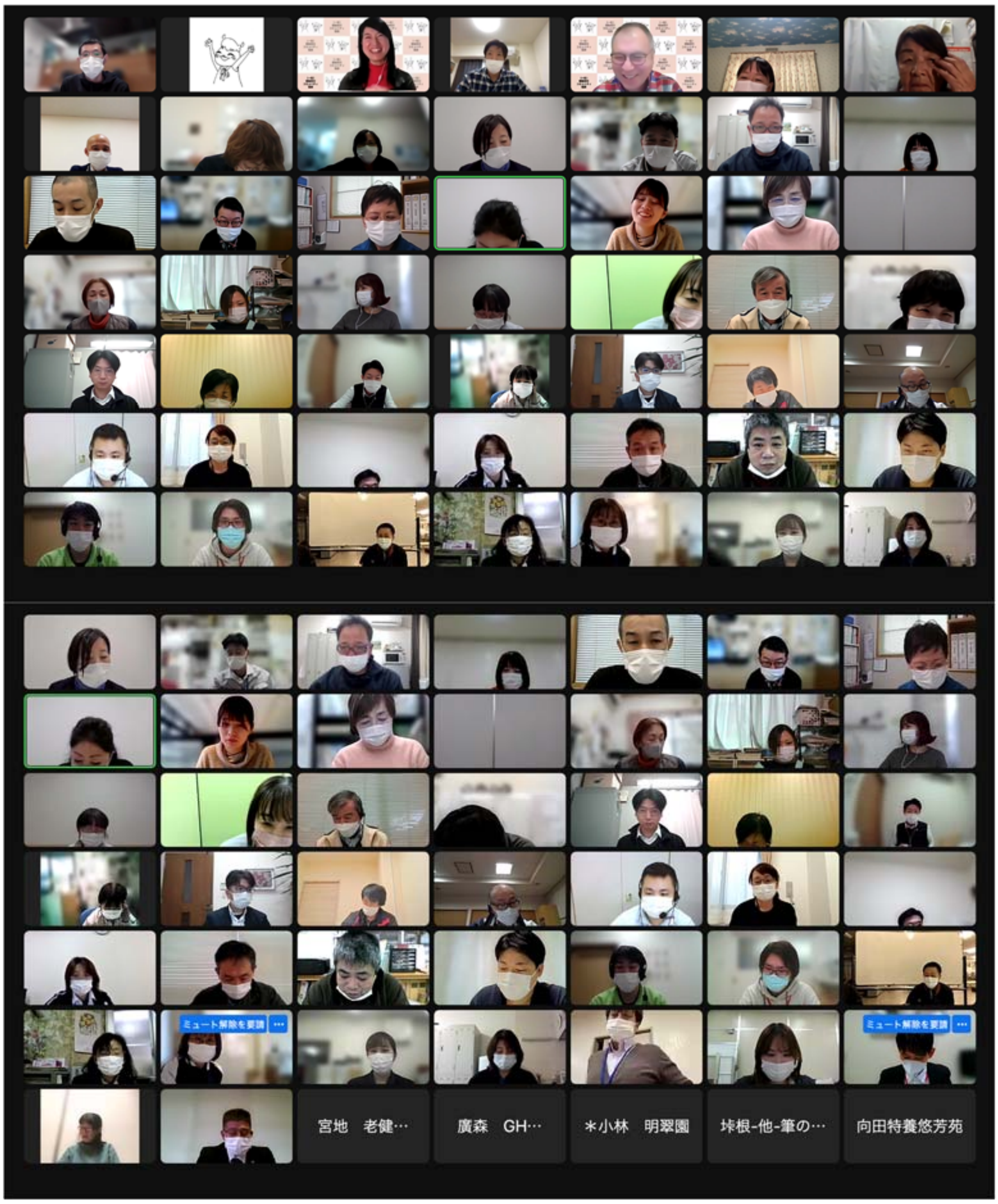


写真　広島県 BCP 後期の様子

写真　広島県 BCP フォローアップの様子

（５）サンダーバード BCP 研修

認定特定非営利活動法人　災害福祉広域支援ネットワーク･サンダーバード（略称：サンダーバード）からの委託で、東北地方の２市において、下記日程でBCP作成研修を実施した。

開催町	種別	日時	場所	参加	講師
宮城県 気仙沼市	前期研修	令和6年 1月12日（金）	気仙沼市民会館	92	高橋上級コーチ 石塚認定コーチ （OJT：近藤）
	後期研修	令和6年 2月14日（水）	気仙沼市民会館	87	高橋上級コーチ 原認定コーチ （OJT：野田）
秋田県 男鹿市	前期研修	令和6年 2月26日（月）	男鹿市役所	44	鍵屋上級コーチ 湯井上級コーチ
	後期研修	令和6年 3月22日（金）	男鹿市役所	32	鍵屋上級コーチ 湯井上級コーチ

写真　気仙沼市 BCP 前期の様子

写真　気仙沼市 BCP 後期の様子

写真　男鹿市 BCP 前期の様子

写真　男鹿市 BCP 後期の様子

2024年1月1日に発生した能登半島地震の影響もあってか、いずれの研修でも参加者は熱心に講師の話を聞きておられ、ワークショップでも活発な意見交換が行われた。

資格制度

資格制度とその結果について、以下に示す。

（１）福祉 BCP 管理者（2 級）資格研修、試験

福祉BCP管理者（2級）は、福祉施設等でBCPを担当・推進する方に向けた研修、資格として、2023年度から新設した資格である。

今後の福祉防災認定コーチ受講希望者には、福祉BCP管理者（2級）の認定を必須とすることが決まった。また、既に認定コーチの資格取得者であっても、福祉BCP管理者（2級）の資格名を使用する場合は、試験を受けることとする。

研修では、福祉BCPの理論から実践までの動画をオンデマンドで見て学ぶ。その後、オンラインで確認テストを実施、70点以上を合格とした。研修については、既に福祉防災認定コーチと認定されている方のフォローアップ研修としても受講可能とした。

23名が申し込みを行い（フォローアップ研修メンバーも含む）、21名が合格した。

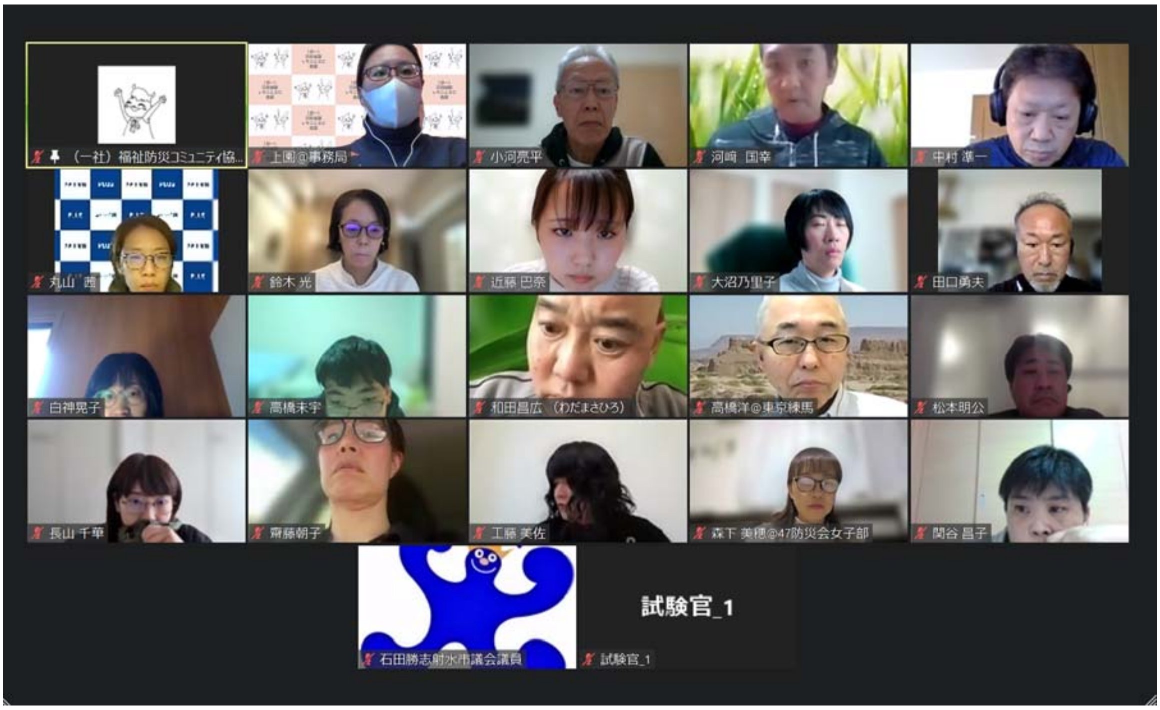


写真　福祉 BCP 管理者（2 級）資格試験の様子

（２）福祉防災認定コーチ資格研修

2023年度の認定コーチ研修を、2023年11月26日（日）に実施した。認定コーチ資格にチャレンジするメンバー７名と、フォローアップ研修として認定コーチ4名が参加した。

「福祉防災認定コーチ」資格研修を受講した７名が研修終了後のレポートを提出し、審査により認定コーチとして認定した。

写真　認定コーチ研修の様子

	福祉防災認定コーチ		福祉防災上級コーチ	
	認定番号	氏名	認定番号	氏名
2023年度	認定コーチ 230042	匂坂　直康		
	認定コーチ 230043	小河　亮平		
	認定コーチ 230044	森下　美穂		
	認定コーチ 230045	鈴木　光		
	認定コーチ 230046	高橋　未宇		
	認定コーチ 230047	工藤　美佐		
	認定コーチ 230048	大沼　乃里子		

（３）安全･安心･魅力施設認定制度

発足当初からの目標であった「安全安心魅力施設」について、下記の通り認定検討委員会を立ち上げ、認定基準の検討を実施した。

検討委員会	代表	横内　康行（福防協　副理事長）
	副代表	髙橋　洋　（福防協　副理事長）
	委員	岡橋　生幸（福防協　理事） 吉井　靖子（認定NPOサンダーバード　代表） 野田　毅　（認定NPOサンダーバード　事務局長）
	事務局	星野　渉　（福防協　認定コーチ）

種別	日時	場所	参加	協議概要
第１回	令和5年 12月23日（火） 13時30分～16時	Zoom	5	• 自己紹介など • 委員長等選任 • 趣旨説明　福防協　高橋副理事長 • 協議 ① 安全･安心･魅力施設の名称、定義 ② 安全･安心･魅力施設の条件 ③ 安全･安心･魅力ある施設の認定方法 ④ 安全･安心･魅力施設の顕彰はどのように
第２回	令和6年 2月3日（土） 10時～12時	Zoom	4	• 話題提供 • 協議 ① （仮称）安全･安心･魅力施設の名称、定義などを整理 ② 条件を整理 ③ 推薦方法、認定方法を整理 ④ その顕彰方法を整理
第３回	令和6年 3月9日（土） 15時～	Zoom	5	• 協議 ① （仮称）安全･安心･魅力施設の名称、定義など ② 認定条件 ③ 推薦方法、認定方法 ④ その他の事項（顕彰方法等）

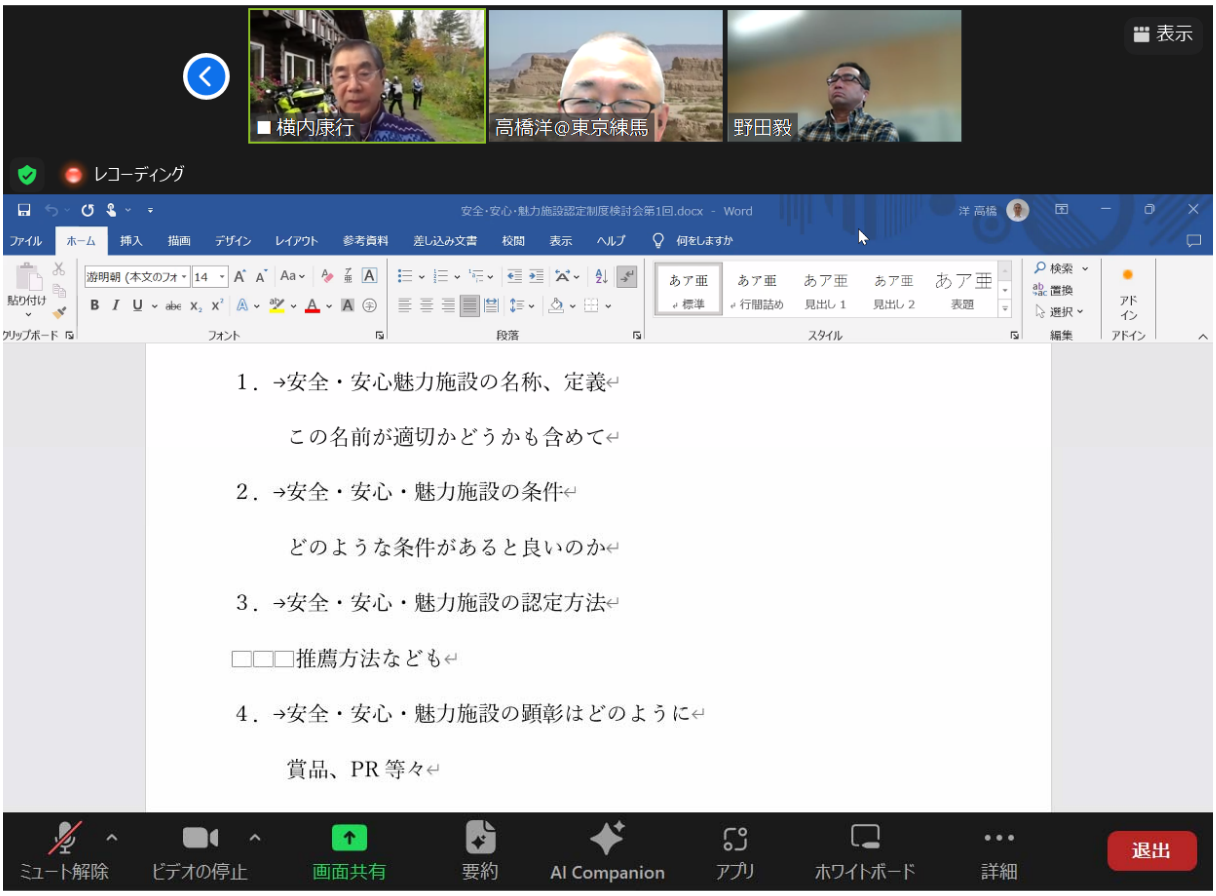


写真　検討委員会の様子

協議・決定された認定基準内容に基づき、次年度から、「安全安心魅力施設」の認定を実施していくこととした。

被災地への支援

（１）能登半島沖地震

2023 年 5 月 7～10 日、能登半島沖地震の現地へ湯井上級コーチ・前川認定コーチが伺い、調査を行った。

写真　能登半島沖地震調査

湯井上級コーチによる所感：

- もともとの観光資源の豊かさと同時に、郷土愛に支えられた丁寧なまちづくりが素晴らしい地域だった。
- とかにかく高齢者が多い（珠洲市全体で高齢化率は 51%）。家は大きく立派で、屋根の手入れができている家も多く、地震の大きさをみるとむしろ被害が少ない印象を受けた。地震から家を守るものの一つに、郷土愛があるのだという気付きを得ることができた。
- 障がい児者と会う機会はなかった。別団体からの情報では、この地震での障がい者支援は個別的な家の修理への支援になるとのこと。
- 一部損壊の家が多いので、古い家でも早い時期に修理をすればまだ住めるが、出水期までに応急修理を急ぐ必要がある。

- 地域とのつながりが強く、高齢でケアが必要でも、地域の支えあいで入所しなくても暮らしていける半面、家族（親）を入所させることへの罪悪感のような気持ちを感じた。介護者が高齢であっても、ショートステイを増やすことにも抵抗が強い。
- 支援策が市のホームページ、NHK などのニュース、市役所の窓口と電話対応に偏っており、アウトリーチ支援として個別に罹災証明申請書の代筆支援や同行支援などが必要になると思われる。近隣の輪島市には、被災の程度に応じて福祉サービス利用料を減免する制度を 2007 年の地震の対応策として作ってあり、今回の救助法適応の 2 市 1 町での情報共有など、一緒に復興が進むとよいと感じた。

（２）梅雨前線による大雨

2023年7月14日から16日にかけ、梅雨前線が東北地方に停滞し、東北北部を中心に大雨となった。秋田県内では、14日から16日の総降水量が多い所で400ミリを超え、秋田県を中心に24時間降水量の1位の値を更新するなど、記録的な大雨となった所があった。

鍵屋代表理事が情報収集等を実施し、大塚製薬工場に男鹿市内の被災状況をお伝えして支援物資をお願いしたところ、7月21日午後、大塚製薬工場仙台支店から男鹿市の福祉施設及び男鹿市に、OS-1を720本お届けいただいた。（写真は男鹿市の特別養護老人ホーム「偕生園」施設長の佐藤哲彦様）

（３）令和６年能登半島地震

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、当日から協会関係者の安否確認や被害状況の把握、支援の必要性等について情報交換を行った。

1月3日から認定コーチらによる物資支援を開始し、次いでコーチそれぞれの活動から福祉施設の活動情報の収集等を実施した。

活動にあたっては、奥村認定コーチ・安江顧問らのお声かけにより、39の個人・企業から合計1,854,250円の寄付をいただいた。心より感謝申し上げる。

今回は雪国での発災であり、支援に向けては悪路走行に加えて雪道走行の技術が必要となることが想定されたため、支援に協力できるメンバーについては運転スキル（特に雪道での運転技術について）の事前確認を行い、安全に支援活動が行えるようチーム編成にも注意した。

これらにより、3月末までに10回の支援を行った。詳細は次頁の表の通りである。

No.	始	終	数 ＊	メンバー		備考
				福防協	その他	
福防協-1	1/3	1/4	1	大月認定コーチ	三重県隊	輪島市立病院へ物資支援を実施。
福防協-2	1/7	1/10	2	国崎理事 奥村認定コーチ	その他メンバー	物資購入し、現地への支援を実施。
福防協-3	1/19	1/23	2	国崎理事 奥村認定コーチ	その他メンバー	物資購入し、現地への支援を実施。
福防協-4	1/23	1/25	2	鍵屋代表理事 上園事務局長	伊藤浩貴氏@岡崎市役所防災課	プラス(株)から支援物資を提供いただき、輪島市の社会福祉協議会や福祉施設、七尾特別支援学校等への支援を実施。
福防協-5	2/2	2/4	1	前川認定コーチ	JVOAD メンバー	JVOAD の避難所アセスメントに参加し、七尾市の避難所と NPO の拠点で実施。
福防協-6	2/7	2/10	2	上園事務局長 穴井認定コーチ	荒木裕子准教授@京都府立大学	珠洲市ボラセン、七尾市田鶴浜体育館（避難所）、輪島市役所・物資拠点・福祉施設等の状況確認、現地メンバーとの意見交換等を実施。
福防協-7	2/12	2/16	1	遠藤認定コーチ	-	金沢にて実施された二次避難者相談会にて支援活動。
福防協-8	2/13	2/15	1	木村認定コーチ	高澤千絵氏@能登 DMC	金沢、志賀町、七尾市の避難所への支援物資、被災者へのヒアリング。
福防協-9	2/28	2/28	1	湯井上級コーチ	松川杏寧准教授@兵庫県立大学	石川県教育委員会会合に参加し、七尾特別支援学校支援対応。
福防協-10	3/5	3/7	1	湯井上級コーチ	澤田雅弘准教授@兵庫県立大学、水上さゆり理事長@NPO アンジュ	七尾特別支援学校・放デイへのヒアリング。
			14	＊ 人数は福防協関係者のみ		

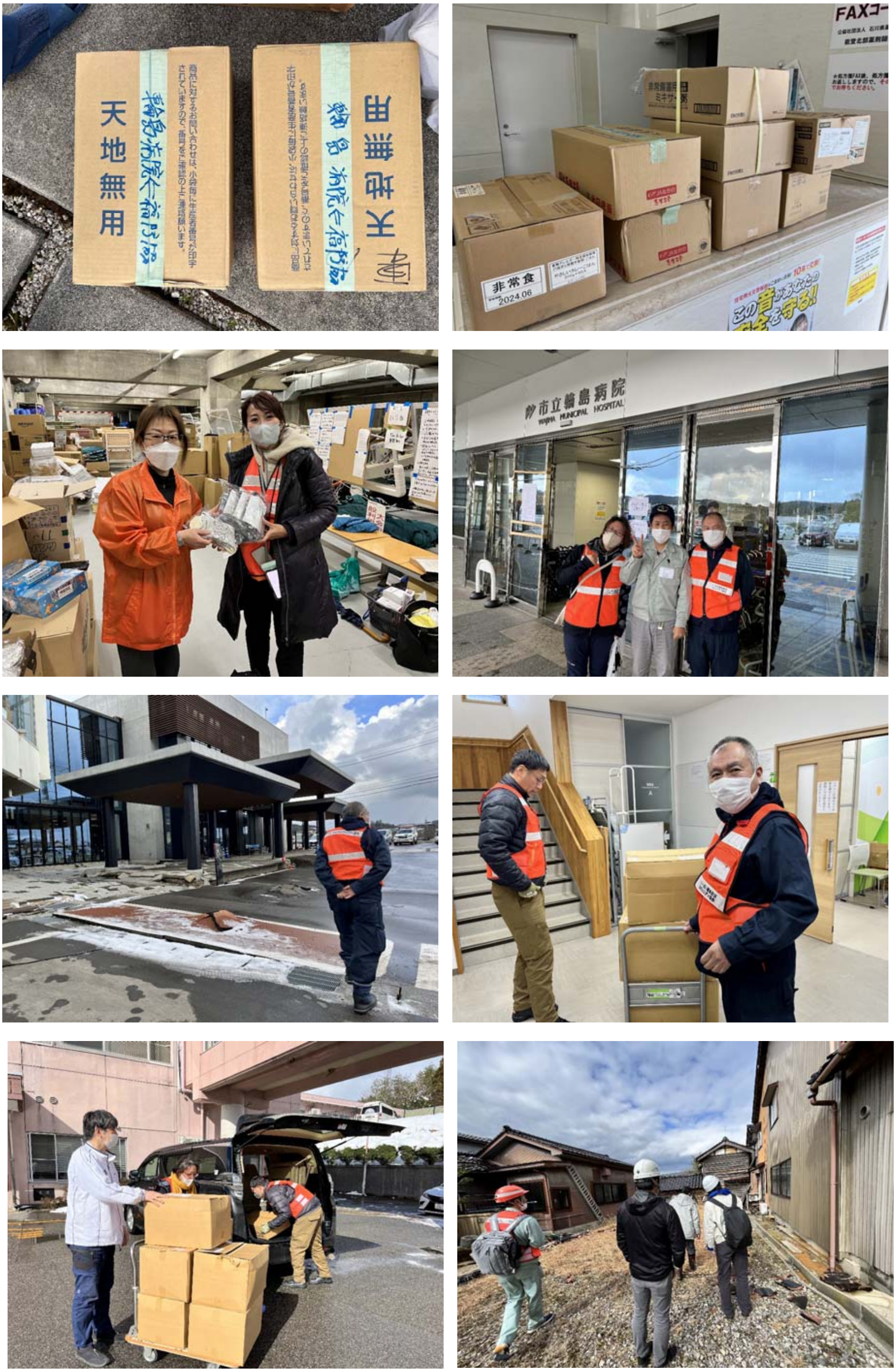


写真　令和６年能登半島地震支援の様子

奥村認定コーチから、フェリシモ「もっとずっときっと基金」による支援の情報があり、書類提出・面談による審査の結果、福祉避難所の運営の支援として 1,000 万円の支援を受けた。

2024 年 2 月 16 日から当会内に支援管理者（横内副理事長、高橋副理事長、事務局早瀬）を配置し、支援委員会を設けた。支援委員会では、支援管理者・支援メンバーが参加、議論の結果、6 市町（珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、七尾市）を対象とすることとした。この 6 市町の市役所・町役場へ上園事務局長他が訪問、福祉部局へお伺いし、高齢担当・障害担当等の担当者へ挨拶の上、「福祉避難所を開設した施設、もしくは福祉避難所的な活動をした施設」の情報を共有いただき、40 施設を対象とした。その後、支援メンバーが対象施設へお伺いしヒアリングを行い、最終的な支援対象施設を 34 施設とした。

写真　市役所・町役場および施設への訪問の様子

写真　施設でのヒアリング、支援の様子

支援対象施設には、支援委員会で定めた被災福祉施設支援金をお届けした。この支援金は、福祉避難所等を運営した（している）職員・利用者・避難者の避難生活環境の向上に役立つことに使用した（する）金銭的負担を軽減するためのものである。福祉避難所等を運営するためには、各施設が被災前に備えていた物資等も使用されているが、想定を大きく超える数の避難者を受け入れた施設も多く、また行政からの物資支援が届かなかった施設や支援物資が受け取れることを知らない施設も多くあったため、物資の確保にはかなりの困難が伴ったとのことであった。ヒアリングでは、施設や職員の持ち出しで物資をかき集め、なんとか支援を続けて来られたお話をたくさんお聞かせいただいた。今回の支援金は、このような「行政からの支援では賄えない部分の支援」に使っていただいた。

施設からご報告いただいた支援金の使用内訳を見ると、発災数日後からの食料品やガソリン・灯油代など生活に密着した物資費用に使っていただいた施設さんが多くあった。支援を続けながら、被災で交通事情が悪い中を買い出しに行くのは、大変な苦労があったはずである。また長引く断水のため、使い捨てのプラスチック皿や丼、紙コップと言った、普段では使用しないものも多く購入されていた。提出いただいた報告書や領収書等から、そのご苦労が偲ばれる。

訪問ヒアリングで聞かせていただいた内容は、今後、日本中の福祉施設で防災対策に活かしていただけるよう発信していきたい。

【現地の声】

- 事業を縮小せざるをえない中、お預かりした支援金は本当に有難く、避難してきた方々や施設の入所者・職員の食材等に使わせて頂きました。本当に助かりました、有難うございます。
- 幸いにも当施設の利用者・職員は皆無事でしたが、職員のなかには家屋に大きな被害を受けた者もおります。当施設等につきましては、壁や床に多数のひび割れや傾き等が見受けられ、基礎部の損壊や給排水設備に大きな被害を受けましたが、現在、復旧に向けて工事を進めております。今回の地震において、皆様から頂戴しました心温まるお見舞い、ご支援を糧に、利用者及び職員の心身面のケアにも充分に配慮しながら役職員一同邁進したいと思っております。
- お陰様で 4 月 11 日から施設内での一般浴、特浴が使用開始となり 15 日からは施設内の給水管も復旧しました。今回の震災で水の出るありがたみを痛感させられました。この度は頂いた支援金で職員の皆に慰労の意味で弁当とお茶を配らせて頂きました。職員一同喜んでおります。お気持ちに感謝しております。ありがとうございました。

No.	start	finish	数＊	メンバー		備考
				福防協	その他	
フェリシモ-1	2/23	2/26	4	鍵屋代表理事・上園事務局長・前川認定コーチ・早瀬事務局	長山氏・丸山氏@プラス(株)	フェリシモ基金：自治体調整、訪問ヒアリングとお届け。
フェリシモ-2	3/2	3/4	2	国崎理事・奥村認定コーチ	その他メンバー	フェリシモ基金：訪問ヒアリングとお届け。
フェリシモ-3	3/11	3/13	3	前川認定コーチ・星野認定コーチ・近藤@事務局	諸節智代氏@海光会	フェリシモ基金：訪問ヒアリングとお届け。
フェリシモ-4	3/22	3/24	3	前川認定コーチ・一杉認定コーチ・穴井認定コーチ	-	フェリシモ基金：訪問ヒアリングとお届け。
フェリシモ-5	3/28	3/29	4	上園事務局長・湯井上級コーチ・斎藤認定コーチ・木村認定コーチ	-	フェリシモ基金：訪問ヒアリングとお届け。
			16	＊ 人数は福防協関係者のみ		

展示会等への出展やマスコミ等による紹介

（１）ぼうさいこくたい 2023 への出展

2023年9月17日～18日、神奈川県横浜市にて行われた「ぼうさいこくたい2023」に出展し、多くの防災関係者・地域の家族連れが見学に訪れた。

ブース展示では、当会の上級コーチや認定コーチが解説を担当し、更新したパンフレットなどを配布しながら、福祉防災についての説明や「福祉避難所スタートボックス」の解説、見学者の悩み相談等に応じた。また埼玉福祉会からも展示があり、防災スタートボックスに関するチラシ等の配布も実施した。他団体の企画への参画などもあり、大変活発な交流ができた。

（２）防災クイズ&ゲーム Day2023 への出展

2023 年 7 月 2 日、一般社団法人防災教育普及協会が主催する「防災クイズ&ゲーム Day2023」へ展示ブースとして出展した。会場はそなエリア１階、「ふくしの防災コーナー」として設けられた１ブースを担当した。

この展示では、展示担当として関わっていただける認定コーチを募集し、事務局と共に企画・掲示資料作成を担当いただいた。また当日は、設営から展示対応までを自立的に実施いただいた。

（３）マスコミからの取材

当会からの講師派遣等により、上級・認定コーチが実施した講演会等の報道は各地で実施されている。

その他、福祉防災に関わるテレビ・ラジオ番組、新聞やネット記事による取材、特に令和 6 年能登半島地震においては多数の取材があったが、著作権の都合上、ここでは割愛する。

フェイスブック等による情報発信（災害関係）

大災害が想定される際や発生した際に、フェイスブックを活用し情報発信を実施している。2023年度は、能登半島沖地震、令和５年梅雨前線による大雨及び台風第２号、令和６年能登半島地震についての発信を実施した。

（1）2023 年 5 月 7 日

今般の能登半島沖地震で被災されたみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。

昨夜からの雨、そして余震と不安な日々を送られているかと存じます。

少しでもお役にたてればと、福祉防災コミュニティ協会から湯井、前川が現地に向かっています。

今後、特に福祉関係者に必要な支援ができるように努めて参ります。

代表理事　鍵屋 一

（2）2023 年 6 月 3 日

令和５年梅雨前線による大雨及び台風第２号災害のお見舞い

2023年6月3日

跡見学園女子大学教授

（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事

鍵屋　一

昨日から令和５年梅雨前線による大雨及び台風第２号災害で被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

多くの住宅街で床上床下浸水、道路の冠水、土砂崩れなど広範囲に多くの被害が出てしまいました。土中に雨の量が多い時に強い雨が降ったり、その雨が収まった後でも土砂災害が発生する可能性があります。復旧活動をされている方々におかれましても、引き続き厳重にご注意くださいますようお願いいたします。

被災者のみなさまは、呆然とされていることと存じます。そして、できるだけ急いで片付けようとされるかもしれません。でも、片付けは少し落ち着いてからで大丈夫です。近所の方と話をされながら、ゆっくりと進めてください。急いでやるべきことは、家の四方から被害の写真を撮り、証拠を記録することです。まもなく、ボランティアが駆けつけてくれますので、遠慮なく支援をお願いしてください。

メディアの方々には被災者、被災者、被災自治体支援の観点からの報道をお願いいたします。

災害直後は、事前の対策がどうだったかなど検証している場合ではありません。被災者はもとより自治体、防災関係団体は、次の被害を最小限度にとどめるため、全力を尽くさなければならないからです。

また、自治体、福祉関係者、自主防災会の方には、在宅高齢者、障がい者等の早期見守りと支援活動に取り組んでいただけますよう切にお願いいたします。今は、高齢者、障がい者等の見

守り支援により災害関連死の防止が最も重要です。居宅支援の福祉関係者は高齢者等の体調の変化に気遣い、支援物資などを届けながら、具合が悪そうでしたらすぐに保健師などに連絡をお願いします。また、落ち着かれたら、生活支援や再建に関する重要情報を在宅避難者らにお伝えください。

【参考】

◆『水害にあったときに～浸水被害からの生活再建の手引き～』

日常生活を取り戻そうと考え始めたときに有効です。イラストが多く、保険の請求、浸水した家屋の泥出し・乾燥などのポイントがとても分かりやすいです。（「震災がつなぐ全国ネットワーク」作成）

チラシ版(A4版4頁)

水害被害にあった際の必要最低限の情報を掲載しています。まずはこれを印刷して配布をお願いいたします。

冊子版(A5版32頁)

冊子版では、写真やイラストを用いて、

１．まずは落ち着いて（ある程度の期間がかかるので慌てずに）

２．必要な手続き（役所や保険会社、税務署など手続きもいろいろ）

３．家屋のかたづけと掃除（何をどうすればいいのか写真とイラストで解説）

４．水害からの生活再建「私の場合」（被災者の生の声を掲載）

という構成で、水害にあった際の対応について情報を掲載しています。

冊子・チラシを補完する「水害後の家屋への適切な対応」(A4版4頁)

これまでの冊子・チラシを補完するため、より具体的な水害後の家屋への適切な対応が書かれています。直後の応急対応にはとても役立つものです。

上記、すべては以下の「震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）のblog」からダウンロードできます。

（３）2024 年 1 月 1 日

石川県能登周辺で地震が継続して発生しています。

大津波警報・津波警報が、日本海側広範囲に出ています。

当会代表理事　鍵屋一からのメッセージをお伝えします。

津波の警報が出ている場所では、可能な範囲で

高齢者や障がいのある方にも声かけをして避難されてください。

ただ、ご自身の避難、安全確保が優先です。

人的被害のないことを心からお祈り申し上げます。

津波は陸に上がると非常に早いです。

決して油断されないようお願いいたします。

まだ大きな揺れが頻発しています！

どうぞみなさまの命を守ってください。

（４）2024 年 1 月 2 日

「令和6年能登半島地震」

災害関連死の防止に向けて重要な対策を！

（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事　鍵屋一

はじめに

この度の令和6年能登半島地震で被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。元日の夕方の地震、その後の津波避難などでご不安が多いかと存じます。中でも、非常に心配なのがハイリスク医療患者、高齢者、障がい者のみなさまです。災害関連死を防止し、生活再建を進めるためにも、今の段階でなすべきこと、考えておくべきことをまとめましたので対策に生かされることを切望します。

１．人工呼吸器、透析患者

地震によってライフラインが停止すると、人工呼吸器や在宅血液透析等で在宅医療を受けている人の生命維持が特に重要です。

人工呼吸器や透析患者の課題は、阪神・淡路大震災以来、ずっと言われ続けています。元日の被災により病院、保健所、訪問看護、支援団体、機器メーカなどが十分に動けないのが心配です。地元の保健師、訪問看護師等が連携して最優先で対応してくださると思いますが、ここは行政による十分なサポートをお願いします。

２．高齢者、既往症患者等

高齢者や既往症を持つ人などが、避難所等の慣れない環境での生活により、病状が悪化し、あるいは、体調を悪化させて発症し、亡くなる可能性があります。（過去の震災では、震災関連死と認定された被災者の６割以上が既往症（要介護認定、薬服用等）を持っていました。）

図1　熊本地震での震災関連死内訳令和3年3月末時点218件（更新）

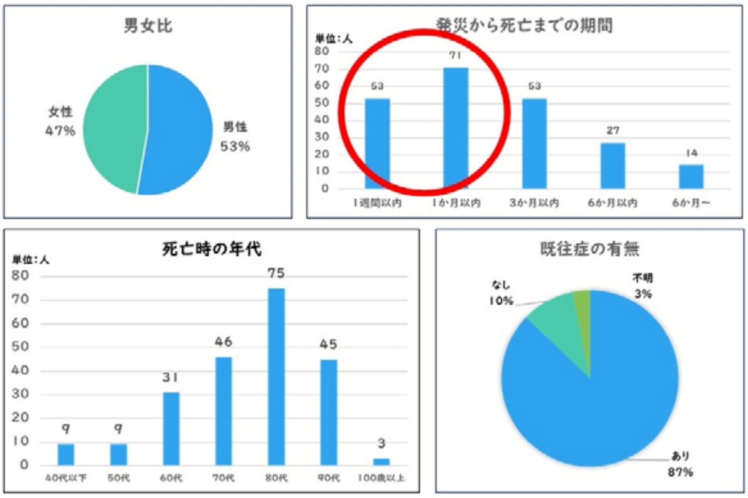


表2　熊本地震震災関連死 死亡時の生活環境区分

生活環境	人数	割合
発災時にいた場所及びその周辺	12	5.5%
避難所等への移動中	0	0.0%
避難所滞在中	10	4.6%
仮設住宅滞在中	1	0.5%
民間賃貸住宅・公営住宅等滞在中	0	0.0%
親戚や知人の家に滞在中	8	3.7%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【自宅等】	81	37.2%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【病院】	27	12.4%
発災前と同じ居場所に滞在中の場合【介護施設】	17	7.8%
入院又は入所後1か月以上経過し亡くなった場合【病院】	58	26.6%
入院又は入所後1か月以上経過しなくなった場合【介護施設等】	3	1.4%
その他・不明	1	0.5%
合計	218	

熊本地震では1週間以内に亡くなった方は、53名に上ります。亡くなった場所をみると「避難所」は10名、最も多いのは「発災前と同じ居場所に滞在中の場合【自宅等】」で81名です。

一刻も早く在宅高齢者のアセスメント、見守り支援、病院への緊急連絡、搬送をできる仕組みを作る必要があります。ただ、災害時に多忙を極める自治体職員のみで実施するのは困難です。

そこで、社会福祉協議会は地域支え合いセンターを早急に設置し、在宅の高齢者・障がい者、特に独居の高齢者を近隣住民や地域包括センターなどの地域福祉職員、福祉事業者、そしてボランティアと一緒に巡回相談、支援活動をお願いします。福祉施設はできれば福祉避難所を開設して、生活が困難な高齢者、障がい者等を自主的にでもよいので受け入れて頂きたい。ボランティアは地域事情には疎いかもしれないが、荷物をもったり支援物資を配ったり、状況を記録したりできるし、何より被災者支援への熱意があります。

３．誤嚥性肺炎の防止

避難生活中に、水不足や歯ブラシ等衛生用品の不足等から、口腔内に病原菌が発生することで誤嚥性肺炎を発症し、治療が遅れた場合は死亡する場合があります。（1月17日という寒い時期に発生した阪神・淡路大震災では、関連死の原因として最も多いのが肺炎でした。極端な水不足による歯磨きの困難や、義歯を紛失した結果、誤嚥性肺炎を発症したケースも多いと考えられています。）

誤嚥性肺炎は、エコノミークラス症候群ほど知られていませんが、極めてリスクが高いのです。これも高齢社会ならではのリスクです。誤嚥性肺炎は、避難所はもとより、初期段階で高齢者の自宅を訪問し、歯ブラシと洗口液を配布することで相当程度予防できるはずです。

おわりに

現状では、自治体は避難所運営、物資で手一杯になっており、避難所外避難者を支援する計画を持っている自治体はほとんどありません。

まずは、社会福祉協議会、自治体、保健医療福祉関係者に在宅のハイリスクの高齢者、障がい者の見守り支援体制を作られることをお願いいたします。

（５）2024年１月８日

発災から１週間が経ちました。

被災地の皆様におかれては、いつまで待てばいいのか、このまま忘れられるのではないかと心配されている方がいらっしゃることと思います。

支援者の皆様におかれては、これまでの災害と比べて、支援の手がなかなか届かないことにイライラされている方もいらっしゃることと思います。

このイライラや不安で、みなさん、言葉が厳しくなっていませんか。

こんな災害時だからこそ、「ふわふわことば」で優しさあふれるやり取りをしませんか。

「なんでできないんだ！」ではなく、「お手伝いしますよ～」。

「こっちが先だ！」ではなく、「お先にどうぞ♪」。

「いらない！」ではなく、「必要な人に渡してくださいね」。

「遅いじゃないか！」ではない、「ありがとう♥」。

技術もお金も、必要ありません。必要なのは、あなたの優しさだけです。

みなさんが発する言葉一つ、笑顔一つで、優しい気持ちが広がります。

互いにできることを見つけて、助け合いを進めてまいりましょう。

（６）2024年１月26日

（一社）福祉防災コミュニティ協会では、2024年1月23日～25日の3日間、能登半島地震現地支援への先遣隊を派遣いたしました。

今回は、プラス株式会社ジョインテックスカンパニー様のご支援により福祉ケアに必要な物品を中心に、下記の皆様へお届けしました。

・福祉避難所を運営されている地域生活支援ウミュードゥソラ様
・輪島市社会福祉協議会様
・石川県立七尾特別支援学校様
・社会福祉法人徳充会　青山彩光苑様
・ゆめ風ネット加賀　ひまわり教室様

福祉防災コミュニティ協会では、今後も皆様のご支援をいただきながら、福祉避難所や福祉施設等への支援を続けてまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い致します。

その他の活動

（１）災害福祉フォーラム設立

2023年9月1日、「災害福祉フォーラム」の設立記念シンポジウムが跡見学園女子大学で開催され、当会メンバーが運営の支援を行った。

また2023年9月30日には、静岡県熱海市の社会福祉法人海光会　特別養護老人ホーム海光園で、研究会（第1回）が開催され、当会メンバーが運営の支援を行った。約60名がオンラインで参加した。

（２）京都府災害ボランティアセンターへの登録

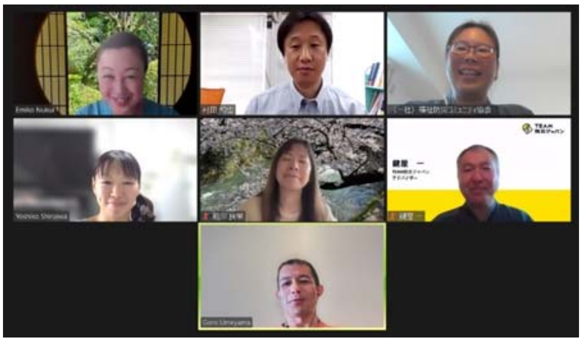
2024年1月、京都府在住の前川認定コーチから依頼があり、京都府内での平常時人的支援・啓発活動、災害時物的支援・人的支援を継続的かつスムーズに行うため、京都府災害ボランティアセンターサポーターとして登録を行った。

（３）離島シンポジウム 2023 への参加

2024年11月、離島シンポジウム2023へ参加し宮古島市・沖縄電力等が実施する地域マイクログリッドの取組について、情報収集を行った。また来間島で運用されている地域マイクログリッドの現地視察に参加し、非常時（災害時）に宮古島本島から独立して電源を供給する仕組み等の見学をおこなった。

（４）パンフレット更新

活動内容が具体的になったことを踏まえ、梅山理事を中心にパンフレットの更新を行った。理事等とも打ち合わせを重ね、作成については埼玉福祉会に協力を依頼して、更新・印刷を行った。



（５）プロポーザルへの参加

2024年1月、世田谷区で福祉避難所に関するプロポーザルがあり、参加した。

2023 年度の成果（実績）とインパクト

2023 年度に実施した研修は、以下の通り。

【協会主催の研修】

開催日	活動タイトル　等	数	会場	講師など
2023/11/6 ～12/9	福祉 BCP 管理者（2 級）オンデマンド研修及び試験	20	オンデマンド+Zoom	鍵屋上級コーチ 高橋上級コーチ
2023/11/26	認定コーチ研修	14	川崎市コンベンションホール+Zoom オンライン：上園	鍵屋上級コーチ 高橋上級コーチ 横内上級コーチ
参加者数合計		34		

【自治体等からの講演・研修】　OJT メンバー

開催日	内容/場所/回数	数	会場	講師
2023/4/14	(財)日本総合研究所：品川ケア協議会セミナー	10	Zoom	鍵屋上級コーチ
2023/4/21	ぎょうせい：別海町BCP研修（前期）	10	別海町役場	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ
2023/6/9	ぎょうせい：中標津町BCP研修（前期）	22	中標津町役場	鍵屋上級コーチ 前川認定コーチ
2023/6/30	岡崎市：個別避難計画作成における意識向上講演会	60	図書館交流プラザりぶら	鍵屋上級コーチ 湯井上級コーチ
2023/8/3	ぎょうせい：別海町BCP研修（後期）	8	別海町役場	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ
2023/8/4	ぎょうせい：中標津町BCP研修（後期）	22	中標津町役場	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ
2023/8/8	(一社)田原市医師会：「何かあっても介護サービスを止めないためには！？」	60	田原福祉センター＋Zoom	高橋上級コーチ
2023/9/2	福島県自主防災組織リーダー研修会：「要支援者に対する避難支援」研修会	27	会津若松市文化センター	星野認定コーチ
2023/10/18	(公財)日本財団：事業助成先団体向け講演会	20	Zoom	高橋上級コーチ
2023/11/15	(福)三重県社会福祉：防災リーダー養成研修	40	三重県　人権センター	高橋上級コーチ
2023/11/15	(福)三重県社会福祉：BCP策定研修(高齢分野)	40	三重県　人権センター	高橋上級コーチ

開催日	内容/場所/回数	数	会場	講師
2023/12/8	広島県BCP研修（前期）	79	Zoom	鍵屋上級コーチ 中井認定コーチ ｵﾝﾗｲﾝ：前川
2024/1/12	サンダーバード：気仙沼市福祉BCP研修（前期）	92	気仙沼市民会館	高橋上級コーチ 石塚認定コーチ 事務局：近藤
2024/1/16	埼玉県東部ブロック福祉連絡協議会：今後の災害に備えて～福祉関係職員としての取組～	50	宮代町立図書館	高橋上級コーチ
2024/1/30	(一財)日本総合研究所：福祉防災講演会(BCPについて)	30	浜松市天竜区光明ふれあいセンター	鍵屋上級コーチ
2024/2/2	奈良県市町村福祉事務研究協議会：みんなで助かる！福祉×防災×コミュニティ　福祉避難所と個別ひなん計画の全体像	50	御所市役所	湯井上級コーチ
2024/2/5	広島県BCP研修（後期）	70	Zoom	鍵屋上級コーチ 中井認定コーチ ｵﾝﾗｲﾝ：前川
2024/2/14	サンダーバード：気仙沼市福祉BCP研修（後期）	87	気仙沼市民会館	高橋上級コーチ 原認定コーチ 野田認定コーチ
2024/2/26	サンダーバード：男鹿市福祉BCP研修（前期）	44	男鹿市役所	鍵屋上級コーチ 湯井上級コーチ
2024/3/4	広島県BCP研修（フォローアップ）	70	Zoom	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ ｵﾝﾗｲﾝ：前川
2024/3/19	常総市福祉避難所開設訓練	40	水海道あすなろの里	高橋上級コーチ 上園上級コーチ 湯井上級コーチ 石塚認定コーチ 星野認定コーチ 齋藤認定コーチ 木村認定コーチ
2024/3/22	サンダーバード：男鹿市福祉BCP研修（後期）	32	男鹿市役所	鍵屋上級コーチ 湯井上級コーチ
参加者数合計		963	（参考）2022年度：761	

【消防防災科学センター受託】　OJT メンバー

開催日	活動タイトル　等	数	会場	講師など
2023/6/13	三重県前期	20	三重県勤労者福祉会館 5階第2教室	高橋上級コーチ 前川認定コーチ
2023/7/12	岐阜県前期	56	岐阜県シンクタンク庁舎 ５階大会議室	横内上級コーチ 前川認定コーチ
2023/7/19	鳥取県前期	14	倉吉体育文化会館　中研修室	上園上級コーチ 中井認定コーチ
2023/8/22	福井県前期	42	オンライン開催（福井県庁から）	横内上級コーチ 奥村認定コーチ
2023/8/24	三重県後期	16	三重県庁講堂棟 3階131・132会議室	湯井上級コーチ 大月認定コーチ 斉藤認定コーチ
2023/9/6	鳥取県後期	8	倉吉体育文化会館　中研修室	湯井上級コーチ 松原認定コーチ
2023/10/11	岐阜県後期	41	岐阜県シンクタンク庁舎 ５階大会議室	高橋上級コーチ 石塚認定コーチ 浅野認定コーチ
2023/10/24	山形県前期	27	山形県自治会館	高橋上級コーチ 岡野谷認定コーチ 遠藤認定コーチ
2023/11/8	熊本県前期	40	熊本県庁内会議室	上園上級コーチ 星野認定コーチ
2023/11/13	福井県後期	20	福井県庁10階防災センター	湯井上級コーチ 前川認定コーチ
2023/11/14	京都府前期	16	キャンパスプラザ京都	湯井上級コーチ 弘中認定コーチ
2023/12/12	山形県後期	16	山形県自治会館	高橋上級コーチ 奥村認定コーチ 遠藤認定コーチ
2024/1/15	熊本県後期	28	熊本県庁内会議室	横内上級コーチ 星野認定コーチ
2024/1/23	京都府後期	5	京都リサーチパーク	湯井上級コーチ 木村認定コーチ
参加者数合計		349	（参考）2022年度：597（7県）	

【その他組織が主催で講師が個別で実施したもの】

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2023/4/29	日本防災士会研修 福祉避難所の設置と運営	200	オンライン	湯井上級コーチ
2023/4/30	職員向け BCP 研修	30	株式会社なだいコーポレーション	前川認定コーチ
2023/5/2	防災アドバイザー事業（BCP 作成研修）	8	大阪府立平野支援学校	田原認定コーチ
2023/5/13	『熊二防災の日』全校児童＆保護者＆地域住民対象 フィールドワーク＆地域安全マップ「事前準備のススメ」	150	広島県熊野第二小学校体育館	中井認定コーチ
2023/5/13	『熊二防災の日』1～3 年生対象「どうして大雨は危ないの？ 」	40	広島県熊野第二小学校イングリッシュルーム	中井認定コーチ
2023/5/13	『熊二防災の日』4～6 年生対象「 どうして防災減災が必要なの？ 」	40	広島県熊野第二小学校イングリッシュルーム	中井認定コーチ
2023/5/13	学校教職員防災研修	20	名古屋市港防災センター（アーカイブ有り）	齋藤認定コーチ
2023/5/14	市原市地区防災計画作成ワークショップ	60	市原市役所	鍵屋上級コーチ
2023/5/16	自主企画 BCP に魂を込める会	3		田原認定コーチ
2023/5/18	中国四国地区盲学校 PTA 連合会	50	会場（高知市）とオンライン併用	湯井上級コーチ
2023/5/19	高知市すずめ福祉会 ＢＣＰフォローアップ研修	20	高知市 すずめ福祉会	湯井上級コーチ
2023/5/21	東大阪市長瀬町 2 丁目自治会 防災研修会	100	東大阪市立長瀬西小学校体育館	湯井上級コーチ
2023/5/22	西伊豆町・松崎町法人連携ネットワーク会議（BCP 講義）	20	西伊豆町福祉センター	園崎認定コーチ
2023/5/24	岐阜県保健所職員講演	120	中津川保健所	鍵屋上級コーチ
2023/5/24	神奈川県 令和５年度 避難所運営講習会 HUG	90	平塚市教育会館	上園上級コーチ
2023/5/29	大分県社会福祉協議会 ＢＣＰ研修会	60	大分県総合社会福祉会館	湯井上級コーチ
2023/5/30	BCP 作成アドバイス	2	合同会社アエタ	田原認定コーチ
2023/5/30	大分県中津市 ＢＣＰ研修会	80	大分県中津市教育福祉センター	湯井上級コーチ
2023/5/31	大分県中津市 福祉避難所と個別避難計画研修会	20	大分県中津市教育福祉センター	湯井上級コーチ
2023/6/2	愛知県社会福祉協議会「BCP 作成研修」	60	名古屋市	鍵屋上級コーチ
2023/6/4	立川市防災ボランティア講演「福祉防災」	80	立川市	鍵屋上級コーチ
2023/6/8	高知県立特別支援学校知的障がい教育校 ＰＴＡ連合会	60	高知市立高知特別支援学校	湯井上級コーチ
2023/6/13	兵庫県立大学大学院 災害看護対象論	5	兵庫県立大学地域ケア研究所	湯井上級コーチ
2023/6/13	自主企画 BCP に魂込める会	2		田原認定コーチ
2023/6/14	BCP 全体研修	25	株式会社幸寿苑	前川認定コーチ
2023/6/15	大阪府保健主事防災研修会	150	大阪市ホテルアウィーナ	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2023/6/17	防災教育コーディネーター養成塾	20	中越防災安全推進機構（オンライン）	齋藤認定コーチ
2023/6/24	市民向け防災講座「災害時にいのちを守るために」	100	南田辺駅前広場	前川認定コーチ
2023/6/26	第１回管理者研修	9	株式会社あかりホーム	前川認定コーチ
2023/6/27	北海道災害ボランティアセンターWEB 講座(社協の BCP)	100	オンライン	園崎認定コーチ
2024 年 6 月～3 月	魚沼市社会福祉協議会 BCP 策定支援業務（全４回）	15	魚沼市社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/6/30	岡崎市講演「個別避難計画」	100	岡崎市役所	鍵屋上級コーチ
2023/7/2	防災ゲーム day　さすけなぶる体験	7	そなえりあ東京レクチャールーム	松原認定コーチ
2023/7/4	自治大学校「地域の防災対策」	60	立川市自治大学校	鍵屋上級コーチ
2023/7/7	愛知県社会福祉協議会「BCP 作成研修」	60	名古屋市	鍵屋上級コーチ
2023/7/7	大阪府社会福祉協議会　福祉避難所エクササイズ	60	オンライン	湯井上級コーチ
2023/7/8	跡見学園女子大学公開講座「地域防災」	50	跡見学園女子大学文京キャンパス	鍵屋上級コーチ
2023/7/8	東上線大学公開講座「地域防災」	35	跡見学園女子大学新座キャンパス	鍵屋上級コーチ
2023/7/9	南房総市講演「福祉と防災」	30	南房総市富山地域センター	鍵屋上級コーチ
2023/7/12	大阪市　聴覚障がい者のためのいきいきセミナー	50	大阪市立総合生涯学習センター	湯井上級コーチ
2023/7/18	大阪府立藤井寺支援学校　プレ訓練	30	大阪府立藤井寺支援学校	湯井上級コーチ
2023/7/18	中国深圳市職員研修「福祉と防災」	200	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/7/19	群馬県「個別避難計画」講演会	80	群馬県庁	鍵屋上級コーチ
2023/7/21	岩手県砂防研修「地域防災」	50	岩手県会議室	鍵屋上級コーチ
2023/7/21	保護者の視点から『地域連携・地域防災』を考える	50	千葉県立香取特別支援学校	石塚認定コーチ
2023/7/21	けま喜楽苑　福祉避難所開設運営研修（座学）	30	尼崎市けま喜楽苑	湯井上級コーチ
2023/7/22	防災士会研修「福祉と防災」	100	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/7/22	防災教育コーディネーター養成塾	10	中越防災安全推進機構（オンライン）	齋藤認定コーチ
2023/7/22	第１回福祉職員研修	26	株式会社幸寿苑　永幸苑	前川認定コーチ
2023/7/24	第１回福祉職員研修	25	株式会社幸寿苑　永幸苑ひらい	前川認定コーチ
2023/7/24	八王子盲学校防災研修	70	八王子盲学校	鍵屋上級コーチ
2023/7/24	南大沢特別支援学校防災研修	80	南大沢特別支援学校	鍵屋上級コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2024/7/24	福祉避難所を開設する上で必要な基本	110	東京都立矢口特別支援学校	石塚認定コーチ
2023/7/25	伊丹市立伊丹特別支援学校　福祉避難所エクササイズ	40	伊丹市立伊丹特別支援学校	湯井上級コーチ
2023/7/26	第２回管理者研修	9	株式会社あかりホーム	前川認定コーチ
2024/7/27	災害時における特別支援学校と福祉避難所について	100	東京都立八王子東特別支援学校	石塚認定コーチ
2023/7/27	大阪府立藤井寺支援学校　教職員研修会	80	大阪府立藤井寺支援学校体育館	湯井上級コーチ
2023/7/28	大阪府立泉南支援学校　人権研修会	80	大阪府立泉南支援学校講堂	湯井上級コーチ
2023/7/28	夏休み防災未来学校 2023「在宅避難」て何？	40	人と防災未来センター	前川認定コーチ
2023/7/31	栃木県災害ボランティアセンター運営マネジメント研修 （基礎マネジメント編）	50	栃木県社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2024 年 7 月～3 月	越谷市社会福祉協議会 BCP 策定支援業務（全 3 回）	15	越谷市社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2024 年 7 月～11 月	四日市市災害 VC スーパーバイザー研修（全 5 回）	30	四日市市社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/8/1	東京都福祉保健財団認可外保育研修「危機管理」	200	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/8/2	西伊豆町・松崎町法人連携ネットワーク個別相談（～3 日）	20	西伊豆町社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/8/3	島本町議会　福祉防災研修会	20	島本町役場	湯井上級コーチ
2023/8/4	夏休み防災未来学校 2023「在宅避難」て何？	40	人と防災未来センター	前川認定コーチ
2023/8/5	茨城県社会福祉士会 BCP 研修	20	ビアスパークしもつま	園崎認定コーチ
2023/8/5	防災教育コーディネーター養成塾	10	中越防災安全推進機構（オンライン）	齋藤認定コーチ
2023/8/5	セミナーゲスト講師	30	株式会社おめめどう	田原認定コーチ
2023/8/8	奈良県立奈良養護学校　教職員研修（ワークショップ）	40	奈良県立奈良養護学校体育館	湯井上級コーチ
2023/8/10	小児慢性事業	30	幸手保健所（オンライン）	齋藤認定コーチ
2023/8/16	東京レジリナイト	15	防災科研　東京会議室	湯井上級コーチ
2023/8/18	明石市立明石養護学校　教職員・PTA 研修会	80	明石市立明石養護学校体育館	湯井上級コーチ
2023/8/19	第 4 回いちょうカレッジ　福祉避難所エクササイズ	30	大阪市立総合生涯学習センター	湯井上級コーチ
2023/8/19	文京区防災イベント	60	文京区役所	鍵屋上級コーチ
2023/8/19	防災教育コーディネーター養成塾	10	中越防災安全推進機構（オンライン）	齋藤認定コーチ
2023/8/19	夏休み防災未来学校 2023「断層実験をしてみよう」？	10	人と防災未来センター	前川認定コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2023/8/20	第１回福祉職員研修	25	株式会社幸寿苑　いきいき希望苑八田	前川認定コーチ
2023/8/22	松川村個別避難計画研修	50	松川村役場	鍵屋上級コーチ
2023/8/22	令和 5(2023）年度新宿区主催　女性をはじめ配慮を要する方の視点でのワークショップ 過去に学び、未来に備える～女性の視点と福祉の視点から～	35	牛込箪笥地域センター	上園上級コーチ
2023/8/23	ガンバコミュキャン　BCP 前期研修会	20	吹田市障がい者相談支援センター	湯井上級コーチ
2023/8/25	大阪府立摂津支援学校　教職員研修会	80	大阪府立摂津支援学校講堂	湯井上級コーチ
2023/8/25	NPO 法人　オリーブひらの　個別避難計画研修会	80	平野区役所　区民ホール	湯井上級コーチ
2023/8/25	柴田町地域包括ケアネットワーク連絡会 BCP 研修	50	柴田町社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/8/26	防災教育コーディネーター養成塾	10	中越防災安全推進機構（オンライン）	齋藤認定コーチ
2023/8/27	長泉町総合防災訓練に向けた勉強会	50	長泉町社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/8/28	岩手県研修「被災者支援」	80	岩手県会議室	鍵屋上級コーチ
2023/8/28	高知県立盲学校　教職員研修　BCP 前期	60	高知県立盲学校　食堂	湯井上級コーチ
2023/8/28	高知市　すずめ福祉会（旭天神）BCP フォロー研修	20	高知市　すずめ福祉会（旭天神）	湯井上級コーチ
2023/8/30	大阪府立東住吉支援学校　教職員研修（ワークショップ）	100	大阪府立東住吉支援学校　教職員室	湯井上級コーチ
2023/8/30	防災アドバイザー事業（BCP 作成研修）	8	大阪府立北視覚支援学校	田原認定コーチ
2023/9/1	BCP 作成研修	6	生活介護カリス	田原認定コーチ
2023/9/3	田村市講演「福祉と防災」	60	田村市役所	鍵屋上級コーチ
2023/9/3	住民の健康と福祉を守る集会（自治労関東甲）	80	連合会館	髙橋上級コーチ
2023/9/7	跡見学園女子大学防災研修	150	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/9/8	厚労省市町村研修「福祉と防災」	200	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/9/9	朝日町講演「地域防災」	100	朝日町役場	鍵屋上級コーチ
2023/9/10	常総市「女性防災」講演	250	常総市市民センター	鍵屋上級コーチ
2023/9/10	防災研修会 「女性と防災」ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）	20	川崎市南菅生自治会館	上園上級コーチ
2023/9/12	職員研修会	15	生活介護マイウェイきらり	田原認定コーチ
2023/9/12	静岡県立沼津特別支援学校　PTA 防災研修会	50	静岡県立沼津特別支援学校　体育館	湯井上級コーチ
2023/9/13	吹田市　個別避難計画 WS（地域向け）	40	吹田市内本町コミュニティセンター	湯井上級コーチ
2023/9/13	福岡県社会福祉士会 BCP 研修	50	オンライン	園崎認定コーチ
2023/9/14	福井県内社協職員協　BCP 研修	40	福井県社会福祉センター	園崎認定コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2023/9/15	大阪気候変動セミナー「気象災害」	80	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/9/15	NPO 法人　アンジュ　個別避難計画勉強会	20	NPO 法人アンジュ（豊中市）	湯井上級コーチ
2023/9/16	神戸市心身障害児者父母の会「みんなで助かるために考えてみよう」	22	放課後等デイサービス「ないろ」	前川認定コーチ
2023/9/17	ぼうさいこくたい　防災士会「福祉と防災」	300	横浜国立大学＋オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/9/17	ぼうさいこくたい　地区防災計画学会「地区防災計画」	200	横浜国立大学＋オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/9/22	第２回福祉職員研修	26	株式会社幸寿苑　永幸苑	前川認定コーチ
2023/9/22	大阪府立藤井寺支援学校　防災訓練	90	大阪府立藤井寺支援学校	湯井上級コーチ
2023/9/23	吹田市　個別避難計画 WS（事業所向け）	30	吹田市北千里地区公民館	湯井上級コーチ
2023/9/24	第２回福祉職員研修	25	株式会社幸寿苑　永幸苑ひらい	前川認定コーチ
2023/9/25	第３回管理者研修	9	株式会社あかりホーム	前川認定コーチ
2023/9/26	災害時にも事業を継続するために（職員研修）	20	オンライン（ふれ愛名古屋）	前川認定コーチ
2023/9/27	鹿児島県　福祉防災研修会（奄美市）	54	鹿児島県奄美市　甘ホーム PLAZA	湯井上級コーチ 星野認定コーチ
2023/9/28	プラスセミナー「福祉 BCP」	50	東京ビックサイト	鍵屋上級コーチ
2023/9/29	島根県災害 VC マネジメント研修（全２回）	40	くにびきメッセ	園崎認定コーチ
2024/9/29	宿泊防災訓練での防災講和	60	東京都立久我山青光学園	石塚認定コーチ
2023/9/29	防災イベント	60	神奈川県立茅ケ崎養護学校	齋藤認定コーチ
2023/9/29	吹田市　個別避難計画（事業所向け）	30	吹田市保健センター研修室	湯井上級コーチ
2023/9/30	大阪府立摂津支援学校　（高等部防災教育）	100	大阪府立摂津支援学校体育館	湯井上級コーチ
2023/9/30	第１回　過去の災害（2018 年の台風 21 号）を振りかえる	40	高槻市役所　樫田支所２階	前川認定コーチ
2023/10/1	第 28 回日本在宅ケア学会学術集会講演（社会福祉施設の BCP）	100	録画	園崎認定コーチ
2023/10/3	全国経営協北関東甲信越ブロック研修会	30	ビジョンセンター東京駅前	園崎認定コーチ
2023/10/5	福島県社会福祉トップセミナー	70	ビッグパレットふくしま	園崎認定コーチ
2023/10/6	災害に備えて学校と PTA ができること（府支 P 研修）	31	京都府立丹波支援学校	前川認定コーチ
2023/10/7	島根県講演「地区防災計画」	100	浜田市会議室	鍵屋上級コーチ
2023/10/7	吹田市　個別避難計画（地域向け）	30	吹田市千里山コミュニティセンター	湯井上級コーチ
2023/10/9	日出町地区防災計画 WS	60	日地長	鍵屋上級コーチ
2023/10/11	ガンバコミュキャン　BCP 後期研修会	20	吹田市障がい者相談支援センター	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2023/10/12	茨城県内社会福祉協議会向け BCP 研修会	20	茨城県社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/10/15	福岡県あんあん塾講演「福祉と防災」	100	福岡県防災センター	鍵屋上級コーチ
2023/10/15	吹田市 JC　防災イベント講演（個別避難計画）	60	吹田市北千里体育館	湯井上級コーチ
2023/10/18	伊丹市立伊丹特別支援学校　PTA 防災研修会	30	伊丹市立伊丹特別支援学校	湯井上級コーチ
2023/10/19	名古屋大学総合防災論Ⅱ	40	名古屋大学減災連携研究センター	鍵屋上級コーチ
2023/10/20	日本防火・危機管理促進協会「の高齢者、障がい者等の支援」	60	仙台市	鍵屋上級コーチ
2023/10/20	吹田市母子保健（医療的ケア児）個別避難計画研修会	50	吹田市総合保健福祉センター	湯井上級コーチ
2023/10/20	第２回福祉職員研修	25	株式会社幸寿苑　いきいき希望苑八田	前川認定コーチ
2023/10/21	第２回　過去の災害（2018 年の台風 21 号）を振りかえる	40	高槻市役所　樫田支所２階	前川認定コーチ
2023/10/22	高槻市　登美の里町自治会防災研修会（HUG）	30	高槻市　登美の里公民館	湯井上級コーチ
2023/10/23	兵庫県立舞子高校　社会環境防災Ⅱ（1回目）	70	兵庫県立舞子高校	湯井上級コーチ
2023/10/23	防災アドバイザー事業（BCP 作成研修）	8	大阪府立平野支援学校	田原認定コーチ
2023/10/28	加須市防災士講座「地区防災計画」	100	加須市役所	鍵屋上級コーチ
2023/10/28	奈良県　災害発生後の生活再建を考えるシンポジウム	100	奈良市西部会館　市民ホール	湯井上級コーチ
2023/10/29	防災×遊び	50	ニモカカクラブ・飯能市美杉台小	齋藤認定コーチ
2023/10/29	防災士養成講座（防災士とは）	50	ラポール京都	前川認定コーチ
2023/10/31	佐世保こどもふくし協議会 BCP 研修	40	佐世保市まちなかコミュニティセンター	園崎認定コーチ
2023/11/1	石川県社会福祉大会	200	石川県地場産業振興センター	鍵屋上級コーチ
2023/11/5	町会・自治会応援キャラバン（東京都つながり創成財団）	30	中野区上高田東高齢者会館	髙橋上級コーチ
2023/11/6	兵庫県立舞子高校　社会環境防災Ⅱ（２回目）	70	兵庫県立舞子高校	湯井上級コーチ
2023/11/7	山形県社会福祉法人経営者協議会 BCP セミナー	50	ヒルズサンピア山形	園崎認定コーチ
2023/11/8	上川地区地域に理解され支持される社協づくり研修（BCP）	40	ときわ市民ホール	園崎認定コーチ
2023/11/8	寝屋川市立あかつきひばり園　BCP 訓練	30	寝屋川市立あかつきひばり園ホール	湯井上級コーチ
2023/11/9	品川消防署講演「地域防災」	100	品川区会議室	鍵屋上級コーチ
2023/11/11	第３回　土砂災害に備えコミュニティタイムラインを作ろう	40	高槻市役所　樫田支所２階	前川認定コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2023/11/11	大阪 YWCA 大宮保育園　BCP 啓発研修会	40	大阪市　大阪 YWCA 大宮保育園　ホール	湯井上級コーチ
2023/11/13	栃木県 DWAT 研修	80	栃木県会議室	鍵屋上級コーチ
2023/11/13	大垣市福祉避難所開設・運営訓練	50	大垣市役所	髙橋上級コーチ
2023/11/14	災害に備えて学校と PTA ができること	30	オンライン（愛媛県立新浜特別支援学校みしま分校）	前川認定コーチ
2023/11/15	深川消防署講演「地域防災」	150	江東区会議室	鍵屋上級コーチ
2023/11/15	長泉町社会福祉協議会 BCP 個別相談会	20	長泉町社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/11/15	NHK 大阪放送局　個別避難計画　会議	40	NHK 大阪放送局スタジオ	湯井上級コーチ
2023/11/16	都市防災推進セミナー「水災害と防災」	300	都市センターホテル	鍵屋上級コーチ
2023/11/17	気仙沼市防災講演「地域防災」	120	気仙沼市役所	鍵屋上級コーチ
2023/11/21	体験して学ぼう！大人の防災ワークショップ「あなたのお家は大丈夫？」いっしょに楽しく考えましょう！	5	UR ベルコリーヌ南大沢	上園上級コーチ
2023/11/22	柏崎市防災講演「地域防災」	150	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/11/24	渋谷区社会福祉協議会防災講演「福祉 BCP」	40	渋谷区会議室	鍵屋上級コーチ
2023/11/24	長崎県市町社協連絡協議会 BCP 研修	50	オンライン	園崎認定コーチ
2023/11/25	令和５年度 川崎市中原市民館　平和人権・男女平等推進学習１　「女性の視点から地域防災を考える 2023・秋」 災害時の女性ならではの問題点や避難所運営等での課題を共有しシミュレーションを行うワークショップ	20	中原市民館	上園上級コーチ
2023/11/26	防災士養成講座（多様性について、HUG 体験）	50	亀岡市役所ホール	前川認定コーチ
2023/11/26	尼崎市けま喜楽苑　訓練	70	尼崎市けま喜楽苑	湯井上級コーチ
2023/11/27	特別区職員防災研修「障がい者と防災」	100	特別区職員研修所	鍵屋上級コーチ
2023/11/28	大阪府立藤井寺支援学校　PTA 防災研修会	20	大阪府立藤井寺支援学校	湯井上級コーチ
2023/11/29	地区で考える、経験してみる（町内向け研修）	38	車田集会所	前川認定コーチ
2023/11/30	志太榛原地区社協災害時広域連携事業研修会（BCP）	40	島田市社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2023/12/3	茨木市　男女共同参画と福祉防災　個別避難計画①	20	茨木市男女共同参画センター　ローズ WAM	湯井上級コーチ
2023/12/3	災害に備えて学校と PTA ができること	40	京都府立宇治支援学校	前川認定コーチ
2023/12/4	栃木県 DWAT 研修	80	那須町内会議室	鍵屋上級コーチ
2023/12/4	ウトロ学校＆自治会対象「ウトロは 自然災害に強い まち？」	20	北海道知床ウトロ学校視聴覚室	中井認定コーチ
2023/12/4	BCP 作成アドバイス	2	合同会社アエタ	田原認定コーチ
2023/12/4	第４回　マイタイムライン作りと個別避難計画	40	高槻市役所　樫田支所２階	前川認定コーチ
2023/12/5	横浜市会研修「個別避難計画」	60	横浜市役所	鍵屋上級コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2023/12/5	中河内地区学校保健連絡協議会　防災研修会	150	八尾市文化会館　大ホール	湯井上級コーチ
2023/12/5	奈良県災害時の社協マネジメントを考える委員会	30	奈良県社会福祉総合センター	園崎認定コーチ
2023/12/7	東京都福祉保健財団認可外保育研修「危機管理」	200	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/12/8	市町村アカデミー「地域の防災」研修	80	市町村アカデミー	鍵屋上級コーチ
2023/12/8	避難所における外国人被災者支援研修（東京都つながり創成財団）	40	東京体育館 第二会議室	髙橋上級コーチ
2023/12/8	奈良県立奈良養護学校　PTA 防災研修会　個別避難計画	30	奈良県立奈良養護学校体育館	湯井上級コーチ
2023/12/9	小山市防災士研修「地区防災計画」「多様性配慮」	80	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/12/9	小児慢性事業ピアカウンセリング	5	八潮市メセナ・アネックス	齋藤認定コーチ
2023/12/12	鹿児島県　福祉防災研修会（鹿児島市）	70	鹿児島県庁　６F 大会議室	湯井上級コーチ 星野認定コーチ
2023/12/14	長野県自主防災組織研修「地域防災」	80	オンライン	鍵屋上級コーチ
2023/12/15	兵庫県個別避難計画研修	50	姫路市内会議室	鍵屋上級コーチ
2023/12/16	「助かって・助けよう」（山梨県自治研究センター）	40	夢ワーク　山梨	髙橋上級コーチ
2023/12/16	アーベインルネス城西団地 防災講習会 あなたのお家の備え、一緒に考えませんか	20	アーベインルネス城西団地集会所	上園上級コーチ
2023/12/17	日出町地区防災計画研修	40	日出町役場	鍵屋上級コーチ
2023/12/19	宮城県災害ケースマネジメント研修	80	仙台市内会議室	鍵屋上級コーチ
2023/12/19	奈良市六条地区インクルーシブ防災　福祉避難所エクササイズ	50	奈良市六条地区公民館	湯井上級コーチ
2023/12/20	大阪市東住吉区　個別避難計画研修会	80	大阪市東住吉区　区民ホール	湯井上級コーチ
2023/12/20	栃木県防災ボランティア研修「福祉と防災」	100	宇都宮市内会議室	鍵屋上級コーチ
2023/12/21	島根県社会福祉協議会災害ケースマネジメント研修	60	出雲市内会議室	鍵屋上級コーチ
2023/12/21	広島大学医学部保健学科看護学専攻　地域包括ケア論 「地域づくりに貢献する防災活動（１）　事前の対策」	60	広島大学保健学科棟３０２ 教室	中井認定コーチ
2023/12/22	島根県社会福祉協議会災害ケースマネジメント研修	80	浜田市内会議室	鍵屋上級コーチ
2023/12/22	柏市沼南地域包括ケア地区別研修	30	沼南社会福祉センター	園崎認定コーチ
2023/12/23	島根県防災ボランティア研修「福祉と防災」	120	島根県立大学	鍵屋上級コーチ
2023/12/23	第５回　地区防災計画について考える	40	高槻市役所　樫田支所２階	前川認定コーチ
2024/12/26	特別支援学校に求める防災の取り組みについて	120	東京都立花畑学園	石塚認定コーチ
2023/12/26	高知県立盲学校　教職員研修　BCP 後期	60	高知県立盲学校　食堂	湯井上級コーチ
2024/1/10	名古屋大学自治体研究会「個別避難計画」	30	名古屋大学減災連携研究センター	鍵屋上級コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2024/1/11	埼玉県熊谷地域 BCP 研修会	66	熊谷市地域生活支援センター向陽	横内上級コーチ
2024/1/12	熊本県防災ボランティア研修「福祉と防災」	100	熊本県庁	鍵屋上級コーチ
2024/1/13	知多市社会福祉協議会講演「福祉と防災」	90	メディアス体育館ちた	鍵屋上級コーチ
2024/1/18	京都市総合支援学校 PTA 連絡協議会防災研修会	60	京都市立東総合支援学校	湯井上級コーチ
2023/1/18	大分県福祉避難所研修	40	大分県社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2024/1/18	障害児・者を持つ保護者のための防災（オンライン併用）	100	東京都立矢口特別支援学校	石塚認定コーチ
2024/1/18	広島大学医学部保健学科看護学専攻　地域包括ケア論「地域 づくりに貢献する防災活動（２）発災後の支援 」	60	広島大学保健学科棟３０３ 教室	中井認定コーチ
2023/1/19	西成区社会福祉施設連絡会研修会	30	西成区社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2024/1/20	茨木市聴力障害者協会　風水害への備え	60	茨木市立障がい者福祉センター　ハートフル	湯井上級コーチ
2023/1/20	みんなでたすかるために試してみよう！	20	放課後等デイサービス「なないろ」	前川認定コーチ
2024/1/21	吹田市桃山台地区連合自治会　防災訓練	100	吹田市立桃山台小学校体育館	湯井上級コーチ
2024/1/22	千代田区社会福祉協議会「福祉と防災」	40	千代田区社会福祉協議会	鍵屋上級コーチ
2023/1/25	仙台地方市町社会福祉協議会連絡会研修（2 日間）	60	ハーネル仙台	園崎認定コーチ
2024/1/27	手をつなぐ育成会全国大会「福祉と防災」	1,000	愛媛県民ホール	鍵屋上級コーチ
2024/1/28	茨木市　男女共同参画と福祉防災　個別避難計画②	20	茨木市男女共同参画センター　ローズ WAM	湯井上級コーチ
2024/1/29	自治大学校「地域の防災対策」	60	立川市自治大学校	鍵屋上級コーチ
2024/1/30	岸和田市教育委員会　教職員防災研修会	100	岸和田市総合福祉センター	湯井上級コーチ
2024/1/31	兵庫県個別避難計画研修	100	三宮コンベンションセンター	鍵屋上級コーチ
2023/1/31	東京都社協住民参加型在宅福祉サービス部会情報交換会	30	東京都社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2024/2/1	別府市管理職研修「福祉と防災」	80	別府市役所	鍵屋上級コーチ
2024/2/1	奈良県立明日香養護学校　PTA 防災研修会	30	オンライン	湯井上級コーチ
2024/2/2	東京都副市長会	120	立川市内会議室	鍵屋上級コーチ
2024/2/2	令和５年度　奈良県市町村福祉事務研究協議会研修会	40	奈良県御所市産業振興センター	湯井上級コーチ
2023/2/2	全国こどもの健全育成リーダー養成セミナー	100	日本薬学会　長井記念館	園崎認定コーチ
2024/2/3	四日市市防災ボランティアフォローアップ研修「福祉防災」	50	四日市市消防局	鍵屋上級コーチ
2024/2/4	豊川市多職種研修「個別避難計画」	90	オンライン	鍵屋上級コーチ
2024/2/4	講演「助かって・助けよう（地域福祉ユニオン東京）	50	連合会館	髙橋上級コーチ
2024/2/5	栃木県災害福祉支援体制推進研修会	40	栃木県庁	髙橋上級コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2024/2/6	鹿児島県　福祉防災研修会（鹿屋市）	20	鹿屋市農業研修センター	湯井上級コーチ 星野認定コーチ
2024/2/6	地震に備えて、みんなで考える（ワークショップ）	50	株式会社あぷり　志紀	前川認定コーチ
2024/2/8	震災対策技術展「福祉と防災」	100	東京ビックサイト	鍵屋上級コーチ
2024/2/12	酒田市防災講演会「地域の防災」	120	酒田市文化ホール	鍵屋上級コーチ
2024/2/13	酒田市自主防災会ワークショップ	60	酒田市内会議室	鍵屋上級コーチ
2024/2/13	庄内地区防災連絡会	100	酒田市内会議室	鍵屋上級コーチ
2024/2/14	吹田市　個別避難計画（地域向け）	20	吹田市男女共同参画センターデュオ	湯井上級コーチ
2024/2/14	吹田市　福祉 BCP と個別避難計画（事業所向け）	20	吹田市男女共同参画センターデュオ	湯井上級コーチ
2024/2/15	栃木県個別避難計画研修会	80	宇都宮市内会議室	鍵屋上級コーチ
2023/2/15	魚沼市社会福祉協議会 BCP 研修	50	魚沼市社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2024/2/16	内閣府防災スペシャリスト研修青森地域研修	80	青森県研修所	鍵屋上級コーチ
2024/2/17	成田市防災講演会	120	成田市役所	鍵屋上級コーチ
2024/2/18	平塚市障害者団体連合会講演	200	平塚市民ホール	鍵屋上級コーチ
2024/2/18	尼崎市けま喜楽苑　訓練	70	尼崎市けま喜楽苑	湯井上級コーチ
2024/2/18	防災実践研究会	30	寺子屋朝日（オンライン）	齋藤認定コーチ
2024/2/18	地域のみんなが逃げるために（防災士リーダー講座）	50	大山崎町中央公民館	前川認定コーチ
2024/2/21	市町村アカデミー「地域の防災」研修	120	市町村アカデミー	鍵屋上級コーチ
2024/2/21	第 1 回福祉職員研修	27	GRACIL 枚方	前川認定コーチ
2023/2/22	社会福祉法人共生会法人内連携 BCP 研修	100	テクノプラザかつしか	園崎認定コーチ
2024/2/25	PTA 学習会	10	埼玉県立越谷特別支援学校	齋藤認定コーチ
2023/2/26	特別養護老人ホーム玉樹 BCP 策定委員会、BCP 訓練	20	特別養護老人ホーム玉樹	園崎認定コーチ
2024/2/28	田村市福祉施設 BCP 研修	60	田村市役所	鍵屋上級コーチ
2024/2/28	学習会「助かって・助けよう」（藤沢市職員労働組合）	50	藤沢商工会議所	髙橋上級コーチ
2024/2/29	足柄保健所福祉防災研修	70	足柄保健所	鍵屋上級コーチ
2024/2/29	奈良県立明日香養護学校　教職員研修会	30	奈良県立明日香養護学校	湯井上級コーチ
2024/3/3	あわら市防災講演	90	あわら市文化会館	鍵屋上級コーチ
2024/3/3	岐阜県中津川市　個別避難計画研修会	180	岐阜県中津川市役所　ホール	湯井上級コーチ
2024/3/4	尼崎市けま喜楽苑　職員研修会	40	尼崎市けま喜楽苑	湯井上級コーチ
2024/3/6	小山市職員研修「福祉防災」	120	小山市民文化会館	鍵屋上級コーチ
2024/3/6	UR 3.11 復興・防災フェア　学ぼう！　復興・防災ウィーク	20	まちのたね	上園上級コーチ
2024/3/8	静岡県個別避難計画報告会	100	静岡市内会議室	鍵屋上級コーチ

開催日	活動タイトル　等	参加者数	会場	講師など
2024/3/8	吹田市社会福祉協議会　個別避難計画勉強会	30	吹田市総合福祉会館	湯井上級コーチ
2024/3/9	吹田市　個別避難計画（地域向け）	30	吹田市男女共同参画センターデュオ	湯井上級コーチ
2024/3/9	吹田市　福祉 BCP と個別避難計画（事業所向け）	30	吹田市男女共同参画センターデュオ	湯井上級コーチ
2024/3/9	みんなで助かる防災とは（オンライン防災）	80	オンライン	前川認定コーチ
2024/3/11	ラジオ出演　防災アドバイス		FM-NCV　山形県米沢市地域ＦＭ放送	遠藤認定コーチ
2023/3/14	越谷市社会福祉協議会 BCP 職員研修会	20	越谷市社会福祉協議会	園崎認定コーチ
2024/3/15	岐阜県大野町民生児童委員　防災研修会（個別避難計画）	30	岐阜県庁　研修室	湯井上級コーチ
2024/3/16	板橋区学習支援センター研修会	80	まなぽーと成増	鍵屋上級コーチ
2024/3/16	真備町箭田地区　個別避難計画勉強会	30	倉敷市真備町公民館　箭田分館	湯井上級コーチ
2024/3/19	泉南市人権協会　個別避難計画勉強会	30	泉南市人権協会　ホール	湯井上級コーチ
2024/3/19	わが子の命を守るためにーみんなで考えてみようー	40	神戸市総合福祉センター	前川認定コーチ
2024/3/20	福岡市防災講演会「個別避難計画」	120	福岡市中央市民センター	鍵屋上級コーチ
2024/3/21	和光市防災講演会「地域防災」	60	和光市役所	鍵屋上級コーチ
2024/3/21	UR 全国自治協連携勉強会 次の災害に向け　いま、あなたができること	50	新宿アイランドタワー	上園上級コーチ
2024/3/30	にじのかけ橋　防災職員研修	26	東灘文化センター	前川認定コーチ
		18,069		

14 名のコーチが日本全国で実施した講演等の全体数は、約 300 件であった。

対面での開催が増え、コロナ禍から通常の開催形態に戻りつつあることを感じたのが 2023 年度の特徴と言える。

【論文等の執筆活動】

	著書、学術論文、研究発表・報告等の名称	発行又は発表の年月	発行所、発行雑誌等又は発表学会等の名称 など	共著者又は共同発表者
1	放課後等デイサービス事業所における災害への備えに関する研究	2023 年 5 月	2023 年度地域安全学会研究発表会（春季）一般発表論文	○前川良栄、澤田雅浩
2	大都市における障害福祉施設 BCP の課題抽出と考察	2023 年 5 月	第 52 回（2023 年度）地域安全学会研究発表会（春季）一般論文発表	○鍵屋一，湯井恵美子，上園智美
3	A Study on the impact on the community of creating individual evacuation cards for people in need of assistance in the event of a disaster. －From a case study of HELP CARDs creation in the Yata district of Mabi-cho, Kurashiki City－	2023 年 9 月	第 42 回（2023 年度）日本自然災害学会学術講演会 英語発表	○湯井恵美子，澤田雅浩
4	関東大震災 100 年（リレー寄稿）	2023 年 10 月	チーム防災ジャパン	高橋洋
5	特別支援学校における災害時優先業務に関する研究 三重県立特別支援学校における全校調査から	2023 年 11 月	地域安全学会論文集 43 巻	湯井恵美子，澤田雅浩
6	大都市における障害福祉施設 BCP の課題に関する研究	2023 年 11 月	地域安全学会論文集 44 巻	湯井恵美子，上園智美，鍵屋一
7	特別支援学校および放課後等デイサービス事業所における BC マネジメント	2024 年 11 月	第 28 回（2023 年度）日本在宅ケア学会学術集会 発表	湯井恵美子
8	地区防災計画における個別避難計画の位置づけに関する考察―吹田市の個別避難計画策定プロセスから―	2024 年 3 月	地区防災計画学会誌 第 29 号（第 10 回大会）	○湯井恵美子，澤田雅浩
9	特集「そのとき」に備えて～都的障害のある人の防災を考える～「知的障害がある人のための防災」	2024 年 3 月	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会編集・発行 TOKYO 手をつなぐ 3/4 №588,2024.3 PP.04-07	石塚由江

1 の論文については、第 52 回（2023 年度）地域安全学会研究発表会（春季）で優秀発表賞を受賞された。

また湯井上級コーチにおいては、2024 年 3 月、兵庫県立大学で博士号を取得された。

（１）都道府県、市区町村、社会福祉協議会を対象に、福祉施設の事業継続計画（BCP）研修、福祉避難所マニュアル作成研修を実施

研修準備については、事務局内に資料・研修器財担当を設けて対応することで、滞りなく実施することができた。

BCPや福祉避難所開設・運営を机上訓練するための新たなツールである「福祉避難所エクササイズ」は、湯井上級コーチ・星野認定コーチが対応した研修で試行を繰り返し、内容を確立することができた。また試行的に協会内での教育も実施し、今後の協会内教育への基礎ができた。

【BCP研修】

厚労省が義務付けた福祉事業者のBCP作成が最終年度となり、自治体や社会福祉協議会からBCP作成研修の問合せが多かった。

実施した研修は、（株）ぎょうせいを通して北海道別海町・中標津町、認定特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバードを通して宮城県気仙沼市・秋田県男鹿市、広島県（３年目）であった。

要望が多かった小規模施設の実情にあった簡易なBCPひな型も完成し、提供を開始した。

【福祉避難所研修】

本年も（一財）消防防災科学センターからの委託事業で、7県で福祉避難所マニュアル作成研修を行った。研修調整のため、研修担当事務職員を1名増員した。

（２）研修講師のできる「福祉防災認定コーチ」に加え、実務を行う「福祉 BCP 管理者」を養成する

【福祉防災認定コーチ】

2023年度は7名が合格した。研修を現地とオンラインのハイブリッド開催としたことで、関東圏以外からも参加があった。認定間もないコーチについては、２回のOJTが実施できるよう、研修担当事務職員が調整を行った。OJTが終了したコーチについては、サポート講師として出講いただいている。

専門コンサルタンツとの連携は、進んでいない。

【福祉BCP管理者】

検討の結果、「福祉BCP管理者（2級）」と名付け、研修教材や活動要領の作成などを行い準備した。2023年度は21名が合格した。

（３）広報体制の強化

FMサルース「サロン・ド・防災」では、引き続きスポンサーとして番組内でCMが流れており、協会の知名度向上につながっている。

またホームページ内での福祉避難所マニュアル無償配布を続けており、2023年度は206件の

ダウンロードがあった（開始時よりトータルで657件）。

（社福）埼玉福祉会の協力を得て、パンフレットのリニューアルを行い、ホームページへのアップも実施した。パンフレットの印刷物については、ぼうさいこくたいなどで配布を行った。今後のイベント時にも配布を行っていく。

プラス（株）の社内カンパニー・ジョインテックスカンパニーと連携して、介護事業者の事業継続計画（BCP）の作成と運用の支援も進んでいる。ただし、ワークスモバイルジャパン（株）のLINE WORKSについては、フリー版で登録できるユーザー数が100から30に減少されてしまったため、福祉施設での利用が難しくなり、研修等での案内がしにくくなった。

（４）企業版ふるさと納税を活用した福祉避難所整備事業を広く展開

企業版ふるさと納税を活用した事業は、2023年度は残念ながら実施できなかった。

ただし、前年度、茨城県常総市で企業版ふるさと納税を活用して実施した福祉避難所訓練について、今年度は市からの委託があり実施できた。

（５）防災スタート BOX、福祉避難所開設 BOX の発売

（社福）埼玉福祉会の協力を得て、災害発生後の初動対応をスムーズに進める防災スタートBOX、福祉避難所開設BOX及び福祉BCPひながたセットの販売を続けている。2023年度は通年にわたり、福祉BCPひながたセットの購入があった。購入が増えた分、埼玉福祉会や当会への問い合わせも増え、「マニュアルをダウンロードしたものの、どうやって作っていいのかわからない」等の電話・メール問い合わせに対応する機会が増えた。FAQ作成などの必要性を感じている。

福祉避難所開設BOXを使った簡易防災訓練は、（一財）消防防災科学センター研修やBCP研修等で継続して行っている。

（６）福祉防災コミュニティの維持・発展

個人会員は61名となった（前年度、45名）。「福祉BCP管理者（2級）」や「認定コーチ」合格者を中心に、個人会員への入会が進んだ。会員全員へのLINE WORKSのアカウント発行を進めたいところであるが、アカウント発行手続きや日々のメンテナス、使用者からの問い合わせ等の作業量を考えると、現状の事務局体制では難しく、実行に至っていない。

法人正会員10施設、法人賛助会員1法人の目標に対しては、達成できていない。

認定コーチについては、全員にLINE WORKSアカウントの発行ができたが、招待メールを受け取ったものの対応できていないコーチもあり、研修などを通じて登録を進めていきたい。このLINE WORKSを使い、災害時の安否確認や情報共有ができるようになり、迅速なコミュニケーションが可能になってきた。

（７）被災した福祉関係者への人的応援、及び応援調整

令和6年能登半島地震において、当会の認定コーチ１名が被災したため、支援のため多くの関係者が尽力くださった。当会からもお見舞金をお届けした。

また多くの福祉施設が被災し、福祉避難所・福祉避難所的活動を行う避難所が立ち上がり、被災者支援が実施されていたため、当会関係者およびコーチらによる支援と共に、プラス㈱ジョインテックスカンパニーの支援による福祉関係者への物資提供、およびフェリシモ㈱「もっとずっときっと基金」からの支援をいただき、34施設への支援を行うことができた。これらの支援は、当会上級コーチ・認定コーチが無償で行ってくださった。心より感謝申し上げる。

JVOADや関係団体との連携もあり、被災地内外で情報共有を行うことができた。

（８）協会が認定する「安全安心魅力施設」の基準作り

認定検討委員会を設け、３回の会議を実施し、「安全安心魅力施設」の認定基準作りを実施した。次年度から、施設の認定を実施していく。

2023 年度の成果を受けた新たな課題

（１）研修事業

BCP 策定ラッシュは、2023 年度にひと段落が付くと思われる。このため、我々の新たな研修事業の目玉となるものが必要である。なお、福祉施設は BCP 策定後に職員研修、訓練（シミュレーション含む）が義務付けられているため、BCP 策定後の訓練として使える「福祉避難所エクササイズ」のパッケージ化、講師の育成は急務である。

令和 6 年能登半島地震での福祉避難所における問題点等については、情報を整理した上で、マニュアルの改訂を行う必要がある。

2023 年度には 7 名の認定コーチが誕生したが、上級コーチの増員はできなかった。

知名度が上がるにつれ、研修の問合せ、実施依頼がさらに多くなっているため、対応の見える化や事務局体制について役割分担を進めていく必要がある。

（２）安全安心魅力施設の認定

安心安全魅力施設認定の基準作りは、無事に終えることができた。今後は、認定実施のスケジュールや実施方法などを明確にし、研修事業とは別立てで動いていくように進めていきたい。

（３）福祉防災コミュニティの維持・発展

個人会員は目標数に達成することができたが、法人正会員、法人賛助会員は達成できていない。また会員登録の見える化ができていないため、こちらも実施のスケジュールや実施方法、クラウドサービス「kintone（キントーン）」や LINE WORKS の登録・管理といった通常の事務作業なども明確にし、研修事業や魅力施設認定とは別立てで動いていくように進めていきたい。

（４）新たに顕在化した課題

①福祉避難所の整備

令和 6 年能登半島地震においても、十分な福祉避難所の開設が進まなかった。これについて、調査・ヒアリングを行い、原因等の究明を行っていく必要がある。また明らかになったことについて発信していくことも重要である。

②福祉 BCP の継続的実践と人財育成

販売している BCP ひな型について、「これを買えば出来上がる」と安易に考える人が多くなってきた。これまでの BCP に比べれば、簡単に出来上がるものではあるが、ダウンロードするだけでできるわけではないので、宣伝の仕方を今一度工夫する必要がある。

また、BCP は作成して終わりではなく、その後の職員研修、訓練による振り返り、見直しを継続的に行うことで実効性を高めることができる。この点について、多様な研修や訓練手法を開発し、福祉事業者への普及を進める必要がある。同時に、BCP を福祉現場で実践する人財を育成する必要がある。

③災害福祉の法制度改正への貢献

能登半島地震では、これまでの災害と同様に、被災者支援は住宅の損壊程度によって決まり、しかも申請主義をとるために、多くの困りごとを抱えた人々への福祉支援が届いていない。支援者による情報共有や活動支援の拠点がなく、支援に重複、抜け漏れ落ちが常態化している。この問題は災害救助法に福祉が規定されない、外部を含めた支援拠点がない、アウトリーチ活動を行う専門家を呼ぶ財源がないなど、法制度上の課題に由来する。そこで、災害福祉を志す多くの関係者と連携して、住宅だけでなく被災者の困りごとに応じた支援、自立までの一貫した支援活動が行えるよう法制度改正を進める必要がある。

④被災地支援及び調査活動について

今回は上級コーチ・認定コーチに旅費・宿泊費の支払いのみで、謝金の支払いはしなかった。本業を休んで参加してくださった方もいるので日当の支払いについて検討する必要がある。

⑤ 事務局業務の見える化

2023 年度から事務局体制を強化してきたが、今後の対応を考え実施内容の見える化が必要であり、事務局対応事項のまとめ（マニュアル的なもの）を作成していく必要がある。

法人情報

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町 3-21 ちよだプラットフォームスクエア

電話 044-455-6230

E-Mail fukushibousai@gmail.com

URL https://fukushi-bousai.jp/

事務局

〒211-0063

神奈川県川崎市中原区小杉町 1-403-35 武蔵小杉タワープレイス 17F 日本ミクニヤ内

【添付資料】

・ 決算報告書（第 8 期）

決　算　報　告　書

（第　8　期）

自　令和　5　年　4　月　1　日
至　令和　6　年　3　月　31　日

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

東京都千代田区神田錦町三丁目21番地

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会
（様式１－１）

貸　借　対　照　表

令和 6 年 3 月 31 日 現在

（単位：円）

科　目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	24,299,240	14,376,896	9,922,344
未収入金	3,964,960	4,062,920	△ 97,960
前払費用	18,150	18,150	0
流動資産合計	28,282,350	18,457,966	9,824,384
２．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
保証金	30,000	30,000	0
その他の固定資産合計	30,000	30,000	0
固定資産合計	30,000	30,000	0
資産合計	28,312,350	18,487,966	9,824,384
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	6,423,341	2,402,356	4,020,985
預り金	14,294	92,162	△ 77,868
短期借入金	1,000,000	1,000,000	0
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	7,507,635	3,564,518	3,943,117
２．固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	7,507,635	3,564,518	3,943,117
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	20,804,715	14,923,448	5,881,267
一般正味財産	20,804,715	14,923,448	5,881,267
正味財産合計	20,804,715	14,923,448	5,881,267
負債及び正味財産合計	28,312,350	18,487,966	9,824,384

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会
（様式２－１）

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで

（単位：円）

科　　　目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	210,000	155,000	55,000
賛助会員受取会費	210,000	155,000	55,000
事業収益	14,040,803	20,787,176	△ 6,746,373
事業収益	14,040,803	20,787,176	△ 6,746,373
受取補助金等	10,000,000	1,000,000	9,000,000
受取民間助成金	10,000,000	1,000,000	9,000,000
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	1,855,250	0	1,855,250
受取寄付金	1,855,250	0	1,855,250
雑収益	108	2,018,532	△ 2,018,424
受取利息	108	52	56
雑収益	0	2,018,480	△ 2,018,480
経常収益計	26,106,161	23,960,708	2,145,453
(2) 経常費用			
事業費	17,464,102	13,787,322	3,676,780
旅費交通費	4,697,162	2,443,433	2,253,729
通信運搬費	176,736	72,403	104,333
消耗品費	50,759	5,658,399	△ 5,607,640
印刷製本費	1,740	0	1,740
燃料費	124,275	14,987	109,288
賃借料	714,033	194,082	519,951
会議費	0	42,143	△ 42,143
租税公課	9,854	0	9,854
支払手数料	1,525,311	1,762,875	△ 237,564
支払寄付金	4,107,757	0	4,107,757
委託費	5,981,475	3,599,000	2,382,475
研修費	75,000	0	75,000
管理費	2,690,792	2,124,831	565,961
福利厚生費	55,860	0	55,860
交際費	126,406	0	126,406
会議費	77,435	9,573	67,862
旅費交通費	36,642	296,856	△ 260,214
通信運搬費	57,290	96,837	△ 39,547
消耗品費	68,112	139,545	△ 71,433
広告宣伝費	1,182,004	1,068,420	113,584
賃借料	233,928	208,658	25,270
諸会費	50,000	50,000	0
租税公課	574,500	25,553	548,947
支払手数料	228,615	229,389	△ 774
経常費用計	20,154,894	15,912,153	4,242,741
評価損益調整前経常増減額	5,951,267	8,048,555	△ 2,097,288
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,951,267	8,048,555	△ 2,097,288
２．経常外増減の部			

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

（単位：円）

科　　　　　目	当　年　度	前　年　度	増　　　減
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,951,267	8,048,555	△ 2,097,288
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産増減額	5,881,267	7,978,555	△ 2,097,288
一般正味財産期首残高	14,923,448	6,944,893	7,978,555
一般正味財産期末残高	20,804,715	14,923,448	5,881,267
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	20,804,715	14,923,448	5,881,267

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

預貯金等の内訳書

金融機関名	支店名	種類	口座番号	期末現在高 円	摘要
三井住友銀行	溝ノ口支店	普通預金	7644686	23,061,943	
ゆうちょ銀行	○二九	当座預金	87053	55,000	
ゆうちょ銀行	○九八	普通預金	3075269	940,003	
		現金		242,294	
合計				24,299,240	

（注） 1. 取引金融機関別に、かつ、預貯金の種類別に記入してください。
なお、記載口数が100口を超える場合には、期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入しても差し支えありません。
2. 預貯金等の名義人が代表者になっているなど法人名と異なる場合には、「摘要」欄に「名義人○○○○」のようにその名義人を記入してください。

売掛金（未収入金）の内訳書

科目	相手先 名称（氏名）	相手先 所在地（住所）	期末現在高 円	摘要
未収入金	広島県	広島県広島市中区基町10-52	1,712,000	防災リーダー養成等支援業務
未収入金	（福）埼玉福祉会	埼玉県新座市堀ノ内3-7-31	1,092,960	福祉防災用品監修料
未収入金	常総市	茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3	610,000	福祉避難所解説訓練委託業務
未収入金	㈱ぎょうせい	東京都江東区新木場1-18-11	550,000	介護支援等ＢＣＰ策定業務
計			3,964,960	
合計			3,964,960	

（注） 1. 「科目」欄には、売掛金、未収入金の別を記入してください。
2. 相手先別期末現在高が50万円以上のもの（50万円以上のものが5口未満のときは期末現在高の多額なものから5口程度）については各別に記入し、その他は一括して記入してください。
3. 上記2により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
なお、記載口数が100口を超えるか否かは、売掛金と未収入金との合計口数で判断してください。
4. 未収入金については、その取引内容を「摘要」欄に記入してください。
なお、上記3②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。

仮払金（前渡金）の内訳書

科　目	相手先 名称（氏名）	相手先 所在地（住所）	法人・代表者との関係	期末現在高 円	摘　要
前払費用	ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑｻｰﾋﾞｽ㈱	東京都千代田神田錦町3-21		18,150	施設利用料
保証金	ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑｻｰﾋﾞｽ㈱	東京都千代田神田錦町3-21		30,000	保証料
合　計				48,150	

（注）
1.「科目」欄には、仮払金、前渡金の別を記入してください。
2. 相手先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入してください。
3. 相手先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
4. 上記2により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
なお、相手先が「役員、株主又は関係会社」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
なお、記載口数が100口を超えるか否かは、仮払金と前渡金との合計口数で判断してください。
5.「摘要」欄には、例えば「機械設備の購入手付金」、「仮払税金」等と記入してください。
なお、上記4②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。

貸付金及び受取利息の内訳書

貸付先 名称（氏名）	貸付先 所在地（住所）	法人・代表者との関係	期末現在高 円	期中の受取利息額 円	利率 %	担保の内容（物件の種類、数量、所在地等）
合　計						

（注）
1. 貸付先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入し、その他は一括して記入してください。
2. 貸付先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
また、「期末現在高がないものであっても期中の受取利息額（未収利息を含みます。）が3万円以上」のものについては、各別に記入してください。
3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
なお、「貸付先が役員、株主又は関係会社のもの」又は「期末現在高がないものであっても期中の受取利息額（未収利息を含みます。）が3万円以上のもの」がある場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄及び「期中の受取利息額」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
4.「利率」欄には、同一の貸付先に対する利率が2以上ある場合には、そのうち期末に近い時期における受取利息の利率を記入してください。

買掛金(未払金･未払費用)の内訳書

科 目	相手先 名称（氏名）	相手先 所在地（住所）	期末現在高 円	摘 要
未払金	日本ミクニヤ株式会社	神奈川県川崎市中原区小杉町1-403-35-17F	2,739,000	
未払金	神田税務署	東京都千代田区神田錦町3-3	571,500	消費税及び地方消費税
未払金	前川　良栄	京都府宇治市莵道車田43-1	451,268	
未払金	湯井　恵美子	大阪府吹田市桃山台2-4-45-214	406,002	
未払金	川口　智美	神奈川県川崎市高津区北見方1-12-20-203	404,261	
未払金	夢幻在　田口真奈美	東京都稲城市矢野口826-5-310	385,000	
未払金	鍵屋　一	東京都港区港南4-2-7-304	365,829	
未払金	行政書士高橋洋事務所	東京都練馬区東大泉6-9-25	165,000	
未払金	星野　涉	千葉県印西市中央南2-2-2-112	162,694	
未払金	奥村　奈津美	東京都中野区本町4-48-9-1004	149,505	
未払金	木村　知世子	東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 55F	94,335	
未払金	中井　佳絵	広島県安芸郡熊野町神田16-21	87,266	
未払金	齋藤　朝子	埼玉県飯能市飯能34220	70,969	
未払金	白岩　佳子	東京都江戸川区南葛西7-1-6-416	66,000	
未払金	原　香織	東京都渋谷区代々木4-26-9-101	57,870	
未払金	野田　毅	宮城県仙台市泉区南光台南2-9-23	43,000	
未払金	遠藤　正則	山形県米沢市塩井町塩野3308-22	33,681	
未払金	浅野　幸子	東京豊島区巣鴨4-12-5シャトー・エスポワール201号	32,300	
未払金	吉井　靖子	新潟県長岡市長峰町60-107	30,000	
未払金	一杉　茂樹	静岡県富士市大淵1059-18	29,760	
未払金	穴井　英之	愛知県岡崎市北野町花本28-5	22,860	
未払金	石塚　由江	東京都大田区下丸子2－13－5—313	22,600	
未払金	三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	14,025	
合 計				

(注)　1. 「科目」欄には、買掛金、未払金、未払費用の別を記入してください。
2. 相手先別期末現在高が50万円以上のもの（50万円以上のものが5口未満のときは期末現在高の多額なものから5口程度）については各別に記入し、その他は一括して記入してください。
3. 上記2により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
なお、記載口数が100口を超えるか否かは、買掛金、未払金及び未払費用との合計口数で判断してください。
4. 未払金については、その取引内容を「摘要」欄に記入してください。
なお、上記3②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。
5. 配当金又は法人税法第2条第15号に規定する役員に対する賞与（使用人兼務役員に対する使用人職務分の賞与を除きます。）のうち未払となっているものがある場合には、次の欄にその内訳を記入してください。

未払配当金	支払確定年月日	期末現在高 円	未払役員賞与	支払確定年月日	期末現在高 円
	・　・			・　・	
	・　・			・　・	

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

買掛金(未払金・未払費用)の内訳書

科目	相手先 名称(氏名)	相手先 所在地(住所)	期末現在高(円)	摘要
未払金	国崎　信江	千葉県木更津市ほたる野4-20-4	12,000	
未払金	NTTﾌｧｲﾅﾝｽ㈱	東京都港区港南1-2-70	3,852	
未払金	㈱ｱｲｺﾑ	神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1-23F	2,764	
計			6,423,341	
合計			6,423,341	

(注) 1. 「科目」欄には、買掛金、未払金、未払費用の別を記入してください。
2. 相手先別期末現在高が50万円以上のもの(50万円以上のものが5口未満のときは期末現在高の多額なものから5口程度)については各別に記入し、その他は一括して記入してください。
3. 上記2により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入(この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入)
② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入(支店又は事業所等の名称を「名称(氏名)」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額(50万円未満のものも含む合計金額)を記入)
なお、記載口数が100口を超えるか否かは、買掛金、未払金及び未払費用との合計口数で判断してください。
4. 未払金については、その取引内容を「摘要」欄に記入してください。
なお、上記3②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。
5. 配当金又は法人税法第2条第15号に規定する役員に対する賞与(使用人兼務役員に対する使用人職務分の賞与を除きます。)のうち未払となっているものがある場合には、次の欄にその内訳を記入してください。

未払配当金	支払確定年月日	期末現在高(円)	未払役員賞与	支払確定年月日	期末現在高(円)
	・　・			・　・	
	・　・			・　・	

仮受金(前受金･預り金)の内訳書

科　目	相手先			期末現在高	摘　要
	名称(氏名)	所在地(住所)	法人・代表者との関係	円	
預り金	神田税務署	東京都千代田区神田錦町3-3		14,294	謝金源泉所得税預り金
合　計				14,294	

(注)　1. 「科目」欄には、仮受金、前受金、預り金の別を記入してください。
2. 相手先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入してください。
3. 相手先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
4. 上記2による記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
①　期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入(この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入)
なお、相手先が「役員、株主又は関係会社」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
②　期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入(支店又は事業所等の名称を「名称(氏名)」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額(50万円未満のものも含む合計金額)を記入)
なお、記載口数が100口を超えるか否かは、仮受金、前受金及び預り金との合計口数で判断してください。
5. 「摘要」欄には、例えば「受注工事の前受金」、「源泉所得税預り金」等と記入してください。
なお、上記4②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。
6. 社内預金である場合には、「相手先」欄に「社内預金」と、「期末現在高」欄に期末現在高の合計額を、「摘要」欄には期中の支払利子額(未払利子を含みます。)をそれぞれ記入してください。

源泉所得税預り金の内訳

支払年月 年 月分	所得の種類	期末現在高 円	支払年月 年 月分	所得の種類	期末現在高 円

(注)　「所得の種類」欄には、給与所得は「給」、退職所得は「退」、報酬・料金等は「報」、利子所得は「利」、配当所得は「配」、非居住者等所得は「非」と簡記してください。

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

借入金及び支払利子の内訳書

借入先			期末現在高	期中の支払利子額	利率	担保の内容
名称（氏名）	所在地（住所）	法人・代表者との関係	円	円	%	(物件の種類、数量、所在地等)
鍵屋　一	東京都港区南4-2-7-304	本人	1,000,000			
合計			1,000,000			

（注）1. 借入先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入し、その他は一括して記入してください。
2. 借入先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
また、「期末現在高がないものであっても期中の支払利子額（未払利子を含みます。）が3万円以上」のものについては、各別に記入してください。
3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
なお、「借入先が役員、株主又は関係会社のもの」又は「期末現在高がないものであっても期中の支払利子額（未払利子を含みます。）が3万円以上のもの」がある場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄及び「期中の支払利子額」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
4. 「利率」欄には、同一の借入先に対する利率が2以上ある場合には、そのうち期末に近い時期における支払利子の利率を記入してください。
5. 外国法人又は非居住者から借り入れたものについては、「所在地（住所）」欄には、国外の所在地（住所）を記入してください。